

医学科教育学修プログラム

令和7年度後期

2年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

[illegible]

責任ある医療を実践するための倫理観を持ち、それに基づいて行動できる。
患者の利益を重視する患者中心の医療を修得し、実践できる。
生涯にわたり自己研鑽して高い医療水準と誠実さを持ち続けるために、内発的動機による自己学習能力を持ち、応用できる。

【コミュニケーション】

思いやりの心や共感的理解力といったヒューマンコミュニケーション能力を実践的に修得して、医療現場等で応用できる。
権者者とコミュニケーションしたり、地域フィールドの中でコミュニケーションしたりする能力を実践的に修得して、医療現場等で応用できる。

【子一人医療】

他の医療従事者の役割を理解し、連携してチーム医療を行う能力とともに、医師としてリーダーシップを発揮してチームビルディングする能力を修得し、実践できる。

7 医学の知識

最新の基礎科学、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を修得して、応用できる。
医療安全の基礎を学び、予防と対策を講じることができる。

7 診療の実際

診療に必要な症候・病態について理解するとともに、基本的な診療知識と診療技能を用いて医療面接および身体診察を行い、得られた情報をもとに臨床診断を行い、治療計画を立案することができる。
総合的診療および全人的医療の能力を修得し、実践できる。

II 知的探究と創造性

常に知的探究心を持ち、基礎と臨床の連携で涵養されるリサーチマインドを身につけるとともに、実践的に医学研究に応用できる。イノベーションの重要性を理解して、実践できる。

國際性

グローバル化に対応できる語学能力と国際感覚を身につけて、応用できる。

II 地域医療

地域社会を大切に思い、地域における医療のニーズを認識したうえで、地域医療に貢献できる。

地域住民の健康状態には、家族、地域社会、文化などの社会環境が関与していることを理解できる。	E	D	D	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	D	D	F
地域医療に必要なプライマリケアの考え方と技能を修得し、基礎的事項を実践できる。	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
地域や地域で暮らし人を尊重し、コミュニティを構築して地域医療の向上に貢献できる。	E	C	D	F	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	F	F

医学科2年次目次（後期）

区分	授業科目名	科目責任者
選択	基幹（人文・社会） 政治学	芳賀 大地 ： 学シス参照
選択	主題 「民藝」という美学 ～地域にひそむ新たな価値の発見～	丸 祐一 ： 学シス参照
選択	基幹（人文・社会） 生活と法律 刑法	岩井和由 ： 1年次シラバス参照
選択	基幹（人文・社会） 哲学・倫理学	田鍋良臣 ： 1年次シラバス参照
必修	基幹（人文・社会） 心理学	岩田正明 ： 1 ～ 3
必修	基幹（実験演習） ヒューマンコミュニケーションⅡ	植木 賢 ： 4 ～ 7
必修	外国語 医療英語Ⅱ（ウィルシャークラス）	ウィルシャー ： 8 ～ 10
必修	外国語 医療英語Ⅱ（戸野クラス）	戸野康恵 ： 11 ～ 13
必修	外国語 医療英語Ⅱ（ジアディーンクラス）	ジアディーン ： 14 ～ 16
必修	専門科目 解剖学実習	海藤俊行 ： 17 ～ 24
必修	専門科目 基礎感染症学・実習	大槻 均 ： 25 ～ 33
必修	専門科目 病理学総論	梅北善久 34 ～ 38
必修	専門科目 社会環境医学	尾崎米厚 ： 39 ～ 44
必修	専門科目 【基礎医学特論】	
必修	専門科目 基礎医学特論Ⅰ	植木 賢 ： 45 ～ 47
必修	専門科目 基礎医学特論Ⅱ	難波大輔 ： 48 ～ 50
必修	専門科目 画像診断入門	藤井進也 ： 51 ～ 53

※選択科目：選択、選択必修科目：選必、必修科目：必修は令和6年度入学者を基準としています。

※医療英語は、クラス分けを發表しますので、確認ください。

※主題、基幹（人文・社会）から3年次前期終了までに14単位以上修得してください。

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	AR900400	ナンバリング /Subject Code	LAPSY1002
科目名 /Subject Name	心理学		
英文科目名 /Subject English Name	Psychology		
担当教員 /Teacher Name	岩田 正明,井上 雅彦,竹田 伸也,山梨 豪彦,梶谷 直史,松尾 諒一,福崎 俊貴,太田 真貴		
クラス /Class		開講学期 /Class	後期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	後期
講義室 /Room		科目区分 /Room	全学共通科目
曜日・時限 /Week・Hour	月 2	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	岩田 正明(精神行動医学)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内			
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	精神科医局に伝言してください		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内			
キーワード /Keywords /4000文字以内	心理学の歴史、発展		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	心理学の基礎をふまえて、より深い人間理解が可能な知識を習得する		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	なし		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内			

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内		
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	現役の臨床心理士および精神科医が臨床・研究の経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1 10/6(月) 2時限【121講義室】	心理学概論／【キーワード】心理学の歴史、発展	医学において心理学を学ぶ意義を理解する。	【担当者】臨床心理学・井上 雅彦
2 10/16(木) 2時限【121講義室】	医療と心理の連携／【キーワード】多職種連携、医療健康心理学、統合的ケアモデル	医療と心理の連携について予習・復習をする	【担当者】臨床心理学・細田 珠希
3 10/20(月) 2時限【121講義室】	認知心理学／【キーワード】視覚認知、錯覚、順応	認知心理学の概要について予習・復習をする。	【担当者】精神科・梶谷 直史
4 10/27(月) 2時限【121講義室】	感覚、知覚／【キーワード】知覚、連合学習	脳機能における知覚の機能について予習・復習をする。	【担当者】精神科・山梨 豪彦
5 11/5(水) 2時限【131講義室】	発達心理学／【キーワード】発達心理学の概要、愛着・母子関係・社会性の発達	人間の心理的な発達について予習・復習をする。	【担当者】臨床心理学・井上 雅彦
6 11/10(月) 2時限【131講義室】	記憶・情動／【キーワード】海馬、空間、情動、扁桃体、条件付け学習、視床下部	情動と自律神経系、記憶との関係について予習・復習をする。	【担当者】精神科・松尾 諒一
7 11/17(月) 2時限【121講義室】	高次神経機能／【キーワード】注意、記憶、遂行機能、ワーキングメモリー	高次神経機能障害及びその検査法について予習・復習をする。	【担当者】精神科・梶谷 直史
8 11/25(火) 2時限【121講義室】	心理テスト1(知能・発達)／【キーワード】知能検査、知能指数、適応行動、知的障害、発達障害	知能検査の成り立ちとその意味するものについて自己学習を行う。	【担当者】臨床心理学・井上 雅彦
9 12/1(月) 2時限【121講義室】	精神療法概論1(行動療法)／【キーワード】学習、条件付け、応用行動分析、機能分析、行動療法	レスポナント条件付けとオペラント条件付けの原理と代表技法について自己学習を行う。	【担当者】臨床心理学・井上 雅彦
10 12/8(月) 2時限【121講義室】	心理テスト2(人格特性)／【キーワード】性格類型、人格検査、評価尺度	特性論と類型論やビッグ5などの人格特性に関する基本理論について自己学習を行う。	【担当者】臨床心理学・福崎 俊貴
11 12/15(月) 2時限【121講義室】	コミュニティ心理学／【キーワード】地域共生社会、社会的共通資本	地域共生社会と社会的共通資本について学ぶ	【担当者】臨床心理学・竹田 伸也
12 12/22(月) 2時限【131講義室】	精神療法概論2(認知療法)／【キーワード】認知療法、認知モデル、認知の歪み	うつ病に対する治療効果の高い認知療法について、その理論的基礎から臨床的応用まで、自身を通して実践できる力を身に着ける。	【担当者】臨床心理学・太田 真貴
13 1/5(月) 2時限【131講義室】	精神療法概論3(認知行動療法)／【キーワード】認知行動療法	認知行動療法に関する概要、基礎となる治療理論、用いられる技法等の自己学習を行う。	【担当者】臨床心理学・福崎 俊貴
14 1/19(月) 2時限【131講義室】	産業心理学／【キーワード】ストレス、組織行動マネジメント	ストレスとストレス反応の関係、ストレスチェック制度などの仕事のストレスに関する社会的な動向について自己学習を行う。	【担当者】臨床心理学・福崎 俊貴
15 1/26(月) 2時限【121講義室】	発達心理学2／【キーワード】ピアジェの発達理論、エリクソンのライフサイクル理論、社会認知機能(心の理論、感情認知、共感性)	成長・発達段階における課題とアイデンティティについて予習・復習をする。	【担当者】精神科・松尾 諒一

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	AP490300	ナンバリング /Subject Code	LAMED2301B-C
科目名 /Subject Name	ヒューマンコミュニケーションⅡ		
英文科目名 /Subject English Name			
担当教員 /Teacher Name	植木 賢,花木 武彦,新里 早紀		
クラス /Class		開講学期 /Class	後期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	後期
講義室 /Room		科目区分 /Room	全学共通科目
曜日・時限 /Week・Hour	火 3, 火 4	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	植木 賢、花木 武彦、新里 早紀(C14医学教育学)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	月曜日～金曜日 9時00分～17時00分 ※来られる際には、事前連絡をおねがいします		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	医学教育総合センター:0859-38-6438 花木武彦:t.hanaki@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	目的:患者や家族、介護者をはじめとする他者のために、仲間と協調して取り組む力を育む 概要:講義や演習、リサーチやプレゼンテーションを通じて、他者の気持ちを理解し、他者のためにできることに気づき、それを仲間と共有して共に検討する		
キーワード /Keywords /4000文字以内	○病院ボランティア ○インフォームドコンセント ○医師-患者関係 ○コミュニケーション		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	基本的マナーの習得、共感と対話に基づいた対人関係の形成、コミュニケーションの実践とメタ認知を使用した省察と検討		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	配布資料		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義(50%)、発表(プレゼンテーション)を含むグループ演習(50%)		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	レポート、課題等50%、授業態度50%(ピアレビューを含む)	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	実習扱いのため無遅刻・全出席+レポート全提出が単位の最低条件であるため体調管理に十分な注意を払うこと(出席は評価の最低条件のため、点数化されません)。シラバスの内容は状況に応じて随時変更する可能性があります。その場合は、manaba等で事前に連絡を行います。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	無	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	なし	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[10/21(火)3時限] 【122講義室】	花木先生 ○オリエンテーション ○グループ分け ○インフォームドコンセント(IC)について講義 ○グループディスカッション 【キーワード】 ○インフォームドコンセント ○医師-患者関係 ○コミュニケーション ○Breaking bad news ○自己決定権 ○患者中心の医療 ○医療情報の透明性 ○倫理的ジレンマ	花木先生 予習:インフォームドコンセントについて調べる。復習:授業中のディスカッションと解説について、予習とあわせて学習内容を再検討し、レポートに考察として記載する。	花木先生 予習:インフォームドコンセントについて調べる。復習:授業中のディスカッションと解説について、予習とあわせて学習内容を再検討し、レポートに考察として記載する。
2・3[10/28(火)3・4時限] 【122講義室】	深田先生 ○他者の発表を聞き、質問する。 花木先生 ○「白い巨塔(田宮版)」をみる ○グループディスカッション 【キーワード】 ○医師-患者関係 ○看護学 ○多職種連携 ○治療における意思決定過程 ○先端医療 ○プロフェッショナリズム	深田先生 予習:看護学、多職種連携を理解するために必要な内容を学習しておく。 花木先生 予習:患者さんの理解に基づいた信頼関係性を形成するために必要なナラティブ・ベイスト・メディスンについて学習しておく。 復習:授業後は、予習、授業中のディスカッションおよび解説等により授業内容を復習後に再検討し、レポートに考察としてまとめる。	【担当者】基礎看護学:深田美香、医学教育学:花木 武彦／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
4・5[11/4(火)3・4時限] 【122講義室】	朴先生 ○心理社会的相互作用 ○プロフェッショナリズム ○医師と患者のコミュニケーション 花木先生 ○「白い巨塔(田宮版)」をみた上で、グループディスカッション(10月28日の続き) 【キーワード】 ○高齢者の心理社会的相互作用 ○関係性形成 ○プロフェッショナリズム	予習:患者さんの理解に基づいた信頼関係性を形成するために必要な老年心理学について学習しておく。 復習:授業後は、予習、授業中のディスカッションおよび解説等により授業内容を復習後に再検討し、レポートに考察としてまとめる。	【担当者】ファミリークリニック加古川:朴 大晃、医学教育学:花木 武彦／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
6・7[11/11(火)3・4時限] 【122講義室】	井上先生 ○プロフェッショナリズムを学ぶ ○医師のコミュニケーションを思考する ○他者の意見を聞き考えを深める 花木先生 ○「白い巨塔(唐沢版)」をみる ○グループディスカッション 【キーワード】 ○医師-患者関係 ○コーチング ○関係性形成	予習:コーチングとコミュニケーションについて調べ、授業前までに各自がテーマを持って取り組めるようにしておく。 復習:授業後は、予習、授業中のディスカッションおよび解説等により授業内容を復習後に再検討し、レポートに考察としてまとめる。	【担当者】大山診療所:井上和興、医学教育学:花木 武彦／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))

8・9[11/18(火)3・4時限] 【122講義室】	金先生 ○健康の社会的要因 花木先生 ○「白い巨塔(唐沢版)」をみた上で、グループディスカッション(11月11日の続き) 【キーワード】 ○高齢者の心理社会的相互作用 ○関係性形成 ○プロフェッショナルリズム	金先生 予習:医療機関にたどりついた患者の、症状出現時から受診に至るまでの行動や心情について考え、箇条書きにまとめておく。 花木先生 予習:患者さんの理解に基づいた信頼関係性を形成するために必要な老年心理学について学習しておく。 復習:授業後は、予習、授業中のディスカッションおよび解説等により授業内容を復習後に再検討し、レポートに考察としてまとめる。	【担当者】環境予防医学:金 弘子、医学教育学:花木 武彦／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
10・11[12/2(火)3・4時限] 【122講義室】	上田先生 ○老年心理学 ○医師と患者のコミュニケーション ○プロフェッショナルリズムの探求 花木先生 ○実際のICをみる(消化器外科坂本准教授による模擬IC動画視聴) ○グループディスカッション 【キーワード】 ○他者視点 ○医師-患者関係 ○コミュニケーション	○予習:高齢者の疾病および心理社会的相互作用について論文、書籍等で事前に学習しておく(詳細は授業で説明する)。 復習:授業後は、予習、授業中のディスカッションおよび解説等により授業内容を復習後に再検討し、レポートに考察としてまとめる。	【担当者】高度救命救急センター:上田 敬博、医学教育学:花木 武彦／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
12・13[12/9(火)3・4時限] 【122講義室】	孫先生 ○プロフェッショナルリズムの探求 花木先生 ○ICについての看護師インタビュー動画をみる ○グループディスカッション 【キーワード】 ○他者視点 ○医師-患者関係 ○コミュニケーション	予習:患者さんの理解に基づいた信頼関係性を形成するために必要な臨床心理学について学習しておく。 復習:授業後は、予習、授業中のディスカッションおよび解説等により授業内容を復習後に再検討し、レポートに考察としてまとめる。	【担当者】地域医療学:孫 大輔、医学教育学:花木 武彦／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
14・15[12/16(火)3・4時限] 【122講義室】	新里先生 ICにおけるコミュニケーション技術 花木先生 ○医師国家試験出題問題から紐解くコミュニケーション 【キーワード】 ○他者視点 ○医師-患者関係 ○コミュニケーション ○医師国家試験	○予習:過去のグループディスカッション、講義内容を踏まえた上で、現時点で自身の考える理想のインフォームドコンセントとは何かが他者に語れるようにしておく。 復習:授業後は、予習、授業中のディスカッションおよび解説等により授業内容を復習後に再検討し、レポートに考察としてまとめる。	【担当者】医学教育学:新里 早紀、花木 武彦／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M3110400	ナンバリング /Subject Code	LAENG2101B/LAENG3102B
科目名 /Subject Name	医療英語Ⅱ		
英文科目名 /Subject English Name	Medical English II		
担当教員 /Teacher Name	ウィルシャー ティモシー ルイス,ウィルシャー ティモシー		
クラス /Class		開講学期 /Class	後期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	後期
講義室 /Room		科目区分 /Room	全学共通科目
曜日・時限 /Week・Hour	火 2	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare	In class, you should always have your textbook, a pencil or pen, and paper or a notebook to take notes.		
備考 /Note	Be ready to work hard at developing your English ability.		
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	TL ウィルシャー(非常勤の講師)－Health Science Department Office in the Alesco Building		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	Before, during, or after class hours in the classroom, or in the part-time teacher's room next to the Health Science Department office in the Alesco Building.		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	timw@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	Second-year students will further learn about medical subjects while also practicing active oral communication skills and improve listening, reading, and writing skills begun in the first year Communication English class.. Students will improve their communication skills through practice activities designed to be interesting and enjoyable while also rigorous and challenging. They will also be expected to draw on their own ideas, experience, and imagination in developing their ability for English expression, and will be encouraged to develop independent and self-motivated learning skills to further their command of English.		
キーワード /Keywords /4000文字以内	improving English fluency, developing ideas and materials for learning and teaching, communication skills, international communication		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	The Department of Medicine consists of students whose future goals include direct contact with patients in the medical field as doctors. It is expected that some of their patients will be non-Japanese speaking people and possibly a large percentage of them will have some knowledge of English. Therefore, it is essential that students in the Department of Medicine can internalize their spoken English and gain productive control of common medical terms.		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	First year Communication English at Tottori University Faculty of Medicine or equivalent		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	Medical English－English for Medical Purposes		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	This is not a lecture course. It is an interactive participation course. Students will sometimes be working in pairs or in small groups and are expected to be actively involved in the lessons for the whole class period.		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	Final written test 60% Final speaking test 20% Class participation 10% Weekly homework 10%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	You need to participate effectively in class and work well with each partner during the semester giving your best effort and support. Commit yourself to speaking exclusively in English in class, and try to speak and/or think in English outside of class as much as possible. However you feel about learning English, it will be necessary to know it well enough to communicate in various situations as provided in learning situations in class. Change your mind to think that English is YOUR LANGUAGE! Japanese people have used English for hundreds of years in many ways and it is unique to this country. Looking at it that way, it is easy to see that English is not a foreign language in Japan but another way of expression for the people living here. Take English into your heart and make it YOURS!	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(創造性に富む思考力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	無	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	なし	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[10/7(火)2時限] 【111講義室】	Class Overview	Introduction – 1st semester review & 2nd semester goals	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
2[10/14(火)2時限] 【111講義室】	Unit 6	Speaking about Pain Level – The cultural aspects of pain	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
3[10/21(火)2時限] 【111講義室】	Unit 6	Speaking about Pain Level and Quiz 1 – Talking about the location and severity of pain	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
4[10/28(火)2時限] 【111講義室】	Unit 7	Discussing Tests – Blood tests	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
5[11/4(火)2時限] 【111講義室】	Unit 7	Discussing Tests and Quiz 2 – Giving instructions and explaining results	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
6[11/11(火)2時限] 【111講義室】	Unit 8	Discussing a Diagnosis – Learning the names of various symptoms	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
7[11/18(火)2時限] 【111講義室】	Unit 8	Discussing a Diagnosis & Quiz 3 – Describing the location and appearance of symptoms	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
8[12/02(火)2時限] 【111講義室】	Unit 9	Discussing Surgery Options – Breaking news to a patient	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
9[12/9(火)2時限] 【111講義室】	Unit 9	Discussing Surgery Options & Quiz 4 – Discussing risks and past experience; patient recovery	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
10[12/16(火)2時限] 【111講義室】	Unit 10	Wounds, Infections and Allergies – The cause of injury and symptoms	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
11[12/23(火)2時限] 【111講義室】	Unit 10	Wounds, Infections and Allergies & Quiz 5 – Wound treatment and allergic reaction	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
12[1/6(火)2時限] 【111講義室】	Unit 11	Talking About Treatment – Different kinds of medication, Prescribing medication and explaining side effects	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
13[1/13(火)2時限] 【111講義室】	Final Written Test	Units 6–11	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
14[1/20(火)2時限] 【111講義室】	Final Speaking Test	Units 6–11	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー
15[1/27(火)2時限] 【111講義室】	Final Speaking Test	Units 6–11	【担当者】非常勤講師・TL ウィル シャー

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M3110400	ナンバリング /Subject Code	LAENG2101B/LAENG3102B
科目名 /Subject Name	医療英語Ⅱ		
英文科目名 /Subject English Name	Medical English II		
担当教員 /Teacher Name	戸野 康恵		
クラス /Class		開講学期 /Class	後期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	後期
講義室 /Room		科目区分 /Room	全学共通科目
曜日・時限 /Week・Hour	火 2	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note	医学科2年次		
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	戸野康恵(非常勤講師)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	質問等は講義中または講義前後に行ってください。		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	tono-y@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	医療に関連した内容について読み、書き、聞き、話す活動を通じて、基本的な医療用語を習得し、医療の現場で英語のやり取りができることを目指す。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	医療英語		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	医療現場で英語によるコミュニケーションがスムーズにできる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	1年次にコミュニケーション英語で習得した技能を活かし、医療現場での英語のやり取りができることを目指す。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	Medical English (National Geographic Learning) Virginia Allum		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	教科書の問題を解いたり、医療用語を覚えたりする。ペアまたはグループで対話練習をしたり話し合ったり、発表したりする。医療用語を覚えるための小テストを行う。		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験50%、期末発表20%、小テスト、課題20%、授業参加10%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内		
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(創造性に富む思考力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	無	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	なし	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[10/7(火)2時限]【261講義室】	6 Talking about pain level	痛みについて説明できるようにする。	
2[10/14(火)2時限]【261講義室】	6 Talking about pain level	Medical stories in life に目を通しておく。	
3[10/21(火)2時限]【261講義室】	7 Talking about tests	検査について説明できるようにする。医療用具を英語で言えるよう復習する。	
4[10/28(火)2時限]【261講義室】	7 Talking about tests	Medical stories in lifeに目を通しておく。	
5[11/4(火)2時限]【261講義室】	8 Discussing a diagnosis	臓器の名称を英語で言えるようにする。	
6[11/11(火)2時限]【261講義室】	8 Discussing a diagnosis	Medical stories in lifeに目を通しておく。	
7[11/18(火)2時限]【261講義室】	9 Discussing surgery options	手術について説明できるようにする。	
8[12/2(火)2時限]【261講義室】	9 Discussing surgery options	Medical stories in lifeに目を通しておく。	
9[12/9(火)2時限]【261講義室】	10 Wounds, infections, allergies	処置、治療に関する語彙を復習する。	
10[12/16(火)2時限]【261講義室】	10 Wounds, infections, allergies	Medical stories in lifeに目を通しておく。	
11[12/23(火)2時限]【261講義室】	11 Talking about treatment	さまざまな薬を英語で言えるよう復習する。	
12[1/6(火)2時限]【261講義室】	11 Talking about treatment	Medical stories in lifeに目を通しておく。	
13[1/13(火)2時限]【261講義室】	Review	発表の準備をする。	
14[1/20(火)2時限]【261講義室】	Presentations	発表の準備、練習をしておく。	
15[1/27(火)2時限]【261講義室】	試験	Unit6-11の既習事項を復習し、筆記試験に備える。	

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M3110400	ナンバリング /Subject Code	LAENG2101B/LAENG3102B
科目名 /Subject Name	医療英語Ⅱ		
英文科目名 /Subject English Name	Medical English II		
担当教員 /Teacher Name	ジアディーン マーク		
クラス /Class		開講学期 /Class	後期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	後期
講義室 /Room		科目区分 /Room	全学共通科目
曜日・時限 /Week・Hour	火 2	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare	Please bring your own textbook, a translation device, and a notebook.		
備考 /Note	Please give me 100% effort in each class.		
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	マーク ジアディーン(非常勤講師)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	Part-time teacher's room in the same building beside the administration office.		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	surftacular@hotmail.com		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	Second year students in Medical English classes experience the four skills more intensively to improve their communication. Medical terminology and general medical information are presented through the textbook and other resources. Students follow the guidance of the textbook and learn key vocabulary and practice oral communication. Quizzes and short presentations are also an important part of their learning.		
キーワード /Keywords /4000文字以内	Communication skills, patient-doctor communication		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	The Department of Medicine consists of students whose future goals include direct contact with patients in the medical field. It is expected that some of their patients will be non-Japanese speaking people and possibly a large percentage of them will have some knowledge of English. Therefore, it is essential that students can internalize their spoken English as well as gain productive control of common medical terms. Many students will also give presentations in English at internationals conferences in the future, and it is important that some attention is given to speechmaking and presentation development.		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	Medical English 1		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	Book: Medical English “ English for Medical Purposes”		

授業の形式 /Classwork /4000文字以内	This is not a lecture course. It will be an interactive workshop-style course. Students will be working in pairs or in small groups and are expected to be actively involved in the lessons for the whole class period.	
成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	Quizzes (6) = 60% Final Speaking Test: 40%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	You need to continue to participate effectively and energetically. I expect you to continue to work well with each partner during the semester and give him/her your best effort and support throughout the entire time we will be together. You will need to continue to practice speaking English outside of class, as well as being committed to speaking exclusively in English inside of class. If you do this, everyone will benefit, you, your classmates, and your future patients. You may love, like, or hate English, but that does not change the fact that I expect you to give me your best effort in class. This may result in an S grade or a C grade, but if you did your best, you can be proud of your achievement.	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(創造性に富む思考力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	無	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内		

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[10/7(火)2時限]【121講義室】	Class Overview	Introduction	1st semester review & 2nd semester goals
2[10/14(火)2時限]【121講義室】	Unit 6	Speaking about Pain Level	The cultural aspects of pain
3[10/21(火)2時限]【121講義室】	Unit 6	Speaking about Pain Level and Quiz 1	Talking about the location and severity of pain
4[10/28(火)2時限]【121講義室】	Unit 7	Discussing Tests	Blood tests
5[11/4(火)2時限]【121講義室】	Unit 7	Discussing Tests and Quiz 2	Giving instructions and explaining results
6[11/11(火)2時限]【121講義室】	Unit 8	Discussing a Diagnosis	Learning the names of various symptoms
7[11/18(火)2時限]【121講義室】	Unit 8	Discussing a Diagnosis and Quiz 3	Describing the location and appearance of symptoms
8[12/2(火)2時限]【121講義室】	Unit 9	Discussing Surgery Options	Breaking news to a patient
9[12/9(火)2時限]【121講義室】	Unit 9	Discussing Surgery Options and Quiz 4	Discussing risks and past experience; patient recovery
10[12/16(火)2時限]【121講義室】	Unit 10	Wounds, Infections and Allergies	The cause of injury and symptoms
11[12/23(火)2時限]【121講義室】	Unit 10	Wounds, Infections and Allergies and Quiz 5	Wound treatment and allergic reaction
12[1/6(火)2時限]【121講義室】	Unit 10	Talking About Treatment	Different kinds of medication
13[1/13(火)2時限]【121講義室】	Unit 10	Talking About Treatment and Quiz 6	Prescribing medication and explaining side effects
14[1/20(火)2時限]【121講義室】	Review & Final SpeakingTest	Units 6-11	Discussion question from Units 2-11
15[1/27(火)2時限]【121講義室】	Review & Final SpeakingTest	Units 6-11	Discussion question from Units 2-11

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7208041	ナンバリング /Subject Code	MMANA3301
科目名 /Subject Name	解剖学実習		
英文科目名 /Subject English Name	Practice of Anatomy		
担当教員 /Teacher Name	海藤 俊行,椋田 崇生,岡崎 健治,小山 友香,濱崎 佐和子 ,横田 茂文		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	通年
講義室 /Room		科目区分 /Room	専門科目
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	3.5
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	海藤 俊行(解剖学) 総合研究棟3階 解剖学講座(研究室1)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	月曜日1時限		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	0859-38-6011(解剖学) kaidoh@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	人体の正常構造に関する知識を修得するとともに、観察された疾患に関する病態の理解に応用するため、人体の系統解剖実習を行う。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	頸部、胸部、腹部、鼠径部、臀部、背部、上肢帯、上肢(上腕、前腕、手)、下肢(大腿、下腿、足)、腋窩、胸郭出口部、腕神経叢、肩関節、股関節、膝関節、顔面、縦郭、肺、心臓、腹腔、食道、胃、十二指腸、空腸、回腸、盲腸、虫垂、結腸、直腸、肝臓、脾臓、脾臓、腎臓、横隔膜、大動脈、脊柱、脊髄、鼠径管、会陰、勃起器官、骨盤内臓器、脳硬膜、口腔、鼻腔、甲状腺、咽頭、喉頭、気管、男性・女性泌尿生殖器、肛門、眼窩、眼球、眼球付属器、外耳、中耳、内耳、上顎洞、腰神経叢、仙骨神経叢、肘関節、指節関節、足関節、骨髄		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	人体の正常構造に関する知識を修得するとともに、観察された疾患に関する病態の理解に応用できる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	実習の手引きを配布します。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	4人1組で解剖学実習を行う。		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	口頭試問及び剖出チェックを4回行う。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	・時間を厳守し、解剖学実習を行う者として常識ある態度をとること。 ・解剖学実習は学生4人で行う共同作業であるので、正当な理由なくして休むことは許されない。 ・シラバスは、実習の進行状況に応じて適宜変更することがある。 ・9/16(火)は、オリエンテーションとして最初に実習の注意事項を説明するので、総合教育棟4Fの組織系実習室に集合すること。 ・令和8年春に解剖体慰霊祭が予定されているので、全員が出席すること。 ・レポートでは、実習の進捗状況や解剖所見をまとめるとともに、ピア評価を実施する。 ・連携実習については、暫定的な日程を示している。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究医がその経験を生かして、解剖学実習の指導を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[9/16(火)3・4時限] 【組織系実習室集合】	(頭側・尾側担当者) オリエンテーション 体表観察、胸部、頸部の剥皮／【キーワード】体表、真皮、皮下組織、カンパー筋膜、胸腹部の皮静脈、乳腺	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
2[9/17(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側・尾側担当者) 胸部、頸部の剥皮／【キーワード】広頸筋/デルマトーム、脊髄神経前枝(前・外側皮枝)、胸腹部浅層	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
3[9/18(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 頸部(浅層)の観察 (尾側担当者) 鼠径部表層の解剖／【キーワード】頸部浅層の静脈・神経、頸動脈三角、頸筋膜、胸鎖乳突筋、頸部リンパ節/浅鼠径輪、スカルパ筋膜	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
4[9/19(金)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 頸部(深層)の観察(レポート1) (尾側担当者) 大腿部の剥皮(レポート1)／【キーワード】舌骨下筋群、内頸静脈、総頸動脈/伏在裂孔、大腿の皮神経・皮静脈、浅鼠径リンパ節	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
5[9/22(月)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 頸部(深層)の観察 (尾側担当者) 下腿・足背・上肢の剥皮／【キーワード】頸神経叢、頸神経ワナ、頸部リンパ節/上肢と下肢の皮神経・皮静脈	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
6[9/24(水)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 上肢・下肢(後面)の剥皮 (尾側担当者) 殿部の剥皮／【キーワード】上肢と下肢の皮神経・皮静脈/上・中・下殿皮神経、大殿筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
7[9/25(木)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 背部の剥皮 (尾側担当者) 殿部深層／【キーワード】背部浅層の神経、脊髄神経後枝/大・中・小殿筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)

8[9/26(金)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 背部の筋(レポート2) (尾側担当者) 殿部深層と大腿屈側(レポート2)／【キーワード】僧帽筋、広背筋、前鋸筋/大坐骨孔、梨状筋、仙骨神経叢の分枝、坐骨神経、大腿二頭筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
9[9/29(月)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 浅胸筋(第1回口頭試問) (尾側担当者) 大腿伸側(第1回口頭試問)／【キーワード】大・小胸筋、鎖骨/大腿三角、大腿四頭筋、大腿動脈、大腿管、内転筋管	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
10[9/30(火)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 腋窩 (尾側担当者) 大腿伸側／【キーワード】腋窩リンパ節、腋窩動脈・静脈/大腿深動脈、内転筋群	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
11[10/1(水)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 胸郭出口部 (尾側担当者) 下腿前面／【キーワード】静脈角、鎖骨下動脈・腋窩動脈の分枝、前斜角筋/浅・深腓骨神経、下腿伸筋群	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
12[10/2(木)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 腕神経叢 (尾側担当者) 足背／【キーワード】神経幹と神経束、筋皮・腋窩・橈骨・正中・尺骨神経/下腿伸筋群の腱、足背の筋、足背動脈	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
13[10/3(金)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 上肢帯と筋(レポート3) (尾側担当者) 大腿の屈側、膝窩と下腿後面(レポート3)／【キーワード】三角筋、内側・外側腋窩隙/半腱様筋、半膜様筋、坐骨神経、下腿三頭筋、膝窩動脈、足根管	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
14[10/6(月)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 上腕屈側の筋 (尾側担当者) 膝関節／【キーワード】筋間中隔、上腕二頭筋、上腕動脈/側副靱帯、十字靱帯、半月、変形性膝関節症	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
15[10/7(火)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 上腕伸側の筋、手首と手掌の剥皮 (尾側担当者) 股関節／【キーワード】上腕三頭筋、橈骨神経、手掌腱膜、屈筋支帯/股関節の靱帯、関節包、寛骨臼、大腿骨頭	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)

16[10/8(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 前腕屈側の筋 (尾側担当者) 肩関節／【キーワード】前腕の屈筋群・血管・神経/回旋筋腱板、肩関節の関節包・関節窩・関節唇、肩関節脱臼、肩関節周囲炎	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
17[10/9(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 前腕伸側の筋 (尾側担当者) 足底／【キーワード】伸筋支帯と前腕伸筋群/足底腱膜、足底の筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
18[10/10(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 顔面の剥皮(第2回口頭試問)(レポート4) (尾側担当者) 手(第2回口頭試問)(レポート4)／【キーワード】表情筋、顔面動脈/腱鞘、母指球の筋、正中神経	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
19[10/14(火)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 顔面の筋 (尾側担当者) 手／【キーワード】三叉神経と顔面神経、耳下腺/小指球の筋、尺骨神経、浅掌・深掌動脈弓、虫様筋、骨間筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
20[10/15(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 前胸壁の除去 (尾側担当者) 腹部の筋、腹腔／【キーワード】肋間筋、肋間神経・動脈・静脈、壁側胸膜、胸腺/腹直筋、外・内腹斜筋、腹横筋、腹壁・鼠径ヘルニア	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
21[10/16(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 縦隔と胸膜 (尾側担当者) 腹腔／【キーワード】縦隔、甲状腺の血管、腕頭静脈、胸膜、心膜、横隔神経/腹膜の構造、正中・内側・外側膈ヒダ、消化器の発生、大網、小網、腸間膜、腹部内臓の位置、胃、小腸、結腸、肝臓、腹腔ドレーン留置部位	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
22[10/17(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 胸部内臓摘出(レポート5) (尾側担当者) 腹腔(レポート5)／【キーワード】気管支動脈、反回神経、大動脈弓/上腸間膜動脈、下腸間膜動脈、腹腔動脈、門脈、食道、腹部の神経叢 (リ)ハビリテーション連携実習)	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)

23[10/20(月)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 胸部内臓摘出、後部縦隔 (尾側担当者) 腹腔／【キーワード】心臓の自律神経、星状神経節、食道、胸大動脈、奇静脈、胸管/肝臓、肝区域、胆嚢、胃と動脈・リンパ節	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
24[10/22(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 後部縦隔 (尾側担当者) 腹腔／【キーワード】迷走神経、交感神経幹/十二指腸、膵臓、総胆管、膵管、脾臓、下部消化管、空腸、回腸、回盲部、虫垂、結腸	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
25[10/23(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 肺 (尾側担当者) 腹膜後器官／【キーワード】肺胸膜、胸膜腔、気管、気管支、肺葉、肺区域、肺根、気管支異物/腎臓の被膜、腎臓、腎門、副腎	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
26[10/24(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 心臓(レポート6) (尾側担当者) 腹膜後器官(レポート6)／【キーワード】心臓の外観、心膜、心尖、心底、心房、心耳、心室、冠状動脈、冠状静脈/腹大動脈、精巣・卵巣動脈、総腸骨動脈、胸管心臓の外観/腹大動脈、胸管の走向(保健学科連携実習)	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
27[10/27(月)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 心臓 (尾側担当者) 横隔膜／【キーワード】心臓の内景、右心房、右心室、左心房、左心室、心房中隔、心室中隔、動脈弁と房室弁、線維三角、刺激伝道系/横隔膜(リハビリテーション連携実習)	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
28[10/29(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側・尾側担当者) 脊柱と脊髄／【キーワード】固有背筋、脊柱起立筋、脊柱、脊髄髄膜(硬膜、クモ膜、クモ膜下腔、軟膜)、脊髄神経節、頸・腰膨大、馬尾	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
29[10/30(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側・尾側担当者) 頭部の切り離し作業、脊髄／【キーワード】椎骨動脈、蓋膜、環椎十字靱帯、脊髄(前索、側索、後索、前角、側角、後角)	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)

30[10/31(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 舌骨上筋群と咽頭(第3回口頭試問)(レポート7) (尾側担当者) 鼠径管と会陰(第3回口頭試問)(レポート7)／【キーワード】顎下三角、オトガイ下部、舌骨上筋群、舌下神経、咽頭収縮筋、咽頭鼻部・口部・喉頭部、嚥下、舌根、扁桃/深鼠径輪、鼠径管、鼠径輪、鼠径ヘルニア、外陰部、陰囊、大陰唇	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
31[11/5(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 甲状腺、気管と喉頭 (尾側担当者) 会陰／【キーワード】甲状腺、上皮小体、喉頭の軟骨と筋、声帯/会陰の筋、外肛門括約筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
32[11/6(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 頭蓋内面と頭部の正中断、口腔 (尾側担当者) 骨盤下部臓器、勃起器官／【キーワード】脳硬膜、大脳鎌、小脳テント、硬膜静脈洞、頭蓋窩、下垂体、脳神経、舌、舌乳頭/前立腺、陰、陰茎・陰核と海綿体、尿道	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
33[11/7(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 口腔、鼻腔と鼻中隔(レポート8) (尾側担当者) 骨盤内臓器の観察と取り出し(レポート8)／【キーワード】顎下腺、舌下腺、舌神経、鼻中隔、鼻甲介、膀胱、直腸、子宮、ダグラス窩、子宮広間膜、骨盤神経叢	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
34[11/10(月)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 鼻腔と咽頭鼻部、顔面深層 (尾側担当者) 男性・女性泌尿生殖器、直腸と肛門／【キーワード】鼻腔の動脈、耳管咽頭口、咀嚼筋、下顎骨、下顎管/膀胱、男性生殖器(精巣、精管)、女性生殖器(卵管、卵巢、子宮)、直腸膨大部、肛門管、齒状線	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
35[11/12(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 顔面深層 (尾側担当者) 後腹壁／【キーワード】顎関節、側頭筋、側頭下窩、顎動脈、舌神経、大・小口蓋神経、翼口蓋神経節/腸腰筋、腰神経叢	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
36[11/13(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 眼球付属器 (尾側担当者) 体幹と骨盤の半切／【キーワード】眼瞼、結膜、涙腺、涙囊、鼻涙管/椎間円板、変形性脊椎症、内腸骨動脈の枝、陰部神経管	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)

37[11/14(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 眼窩と眼球、聴覚器(レポート9) (尾側担当者) 仙骨神経叢、肘関節(レポート9)／【キーワード】外眼筋と支配神経、視神経、眼動脈の枝、毛様体神経節、鼓膜、鼓室、耳小骨／仙骨神経叢、肘関節の内側・外側側副靱帯、橈骨輪状靱帯	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
38[11/17(月)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 眼窩と眼球、内耳 (尾側担当者) 足関節／【キーワード】眼球(水晶体など)、内耳(半規管、蝸牛管)、耳介/内腸骨動脈、足関節の内側・外側靱帯、ショパール・リスフラン関節	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
39[11/19(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 上顎洞(第4回口頭試問) (尾側担当者) 骨髄、指節関節(第4回口頭試問)／【キーワード】上顎洞/黄色・赤色骨髄、指節関節の靱帯	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
40[11/20(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側・尾側担当者) まとめ、清掃・納骨(レポート10、最終レポート)／【キーワード】感謝・畏敬の念	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7208051	ナンバリング /Subject Code	MMIND2601
科目名 /Subject Name	基礎感染症学・実習		
英文科目名 /Subject English Name			
担当教員 /Teacher Name	大槻 均,千酌 浩樹,小幡 史子,景山 誠二,徳永 朱乃,近藤 陽子,金井 亨輔,伊藤 大輔,柴田 敏史		
クラス /Class		開講学期 /Class	後期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	後期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	6.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	大槻 均(医動物学)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	担当各分野ごとにオフィスアワーは異なります。 ウイルス学:午後5時から7時 医動物学:昼食時 または 5限 細菌学:		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	ウイルス学連絡先(金井)kkanai@tottori-u.ac.jp 医動物学連絡先(大槻):otsuki@tottori-u.ac.jp 細菌学連絡先(小幡):fumikoobata@tottori-u.ac.jp 臨床感染症学連絡先(北浦)kitaurat@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	ヒトの感染症を引き起こす病原体(ウイルス・細菌・真菌・寄生虫/衛生動物)について、その生物としての特徴、感染経路、引き起こす症状と検査方法、治療方法について、包括的な理解ができるように講義と実習を行います。また、臨床感染症学の教員も参加した、知識を統合し臨床への理解を深める臨床シナリオ討論を基本としたアクティブラーニングによる講義を行います。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	輸入感染症、市中感染症、動物媒介感染症、性感染症、疫学、サーベイランス、流行制御、医療機関・地方と中央行政・国際機関		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	1) 寄生虫の生活史とヒトへの感染様式、体内移行経路、免疫応答などの病態、症状・診断・治療および病害動物・病害伝搬について理解し、世界と日本での流行状況を把握し臨床症例の診断・治療を理解する能力を身につける。 2) 病原細菌および真菌類の特徴とその感染症、抗菌薬療法と感染制御の基本的な考え方を理解し、感染症診療における論理的分析力および総合的判断力を身につける。 3) 病原ウイルスの特徴とその感染症、感染制御の基本的な考え方を理解し、感染症診療と予防における分析力・判断力を身につける。 4) 3つの病原体についての知識を統合し、臨床シナリオ討論によるアクティブラーニングで知識の定着と臨床症例に対応するための考え方を身につける。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	基礎感染症学で得られる感染症についての基礎的な知識は、4年次前期の臨床感染症学を理解するために必要となります。		

教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	科書/参考書:特に指定しない。代表的な教科書は以下の通り。 ●医動物学分野:1)寄生虫学テキスト(第4版) 文光堂 2019年(電子版あり) https://www.bunkodo.co.jp/book/802830B385.html・分かりやすい)、2)図説人体寄生虫学(第10版) 南山堂 2021年(電子版あり http://nanzando.com/books/17020.php・フルカラー・内容充実) ●細菌学分野:1)戸田新細菌学 改訂34版・南山堂(2013)、2)標準微生物学 第14版・医学書院(2021) その他 Bacterial pathogenesis—a molecular approach 4th Ed ASM PRESS (2019), Review of medical microbiology and immunology—a guide to clinical infectious diseases 17th Ed McGraw Hill (2022), 医真菌100種 臨床で見逃していたカビたち、メディカルサイエンスインターナショナル、系統看護学講座 専門基礎 微生物学 第14版(2022) ●ウイルス学分野:代表的な教科書は以下のとおりであり、訳書も販売されている。追加資料を必要とする場合には教育担当者と個別に協議することを勧める。1) Principles of virology: molecular biology, pathogenesis, and control of animal viruses. Flint et al. ASM Press Washington DC, USA、2) Harrison's principles of internal medicine, McGraw-Hill, NY, USA.	
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	1)対面の講義による系統講義 2)実際の病原体サンプルを用いた実習 3)臨床症例に基づくチュートリアル形式のアクティブラーニング	
成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	●全ての分野(細菌学・ウイルス学・医動物学)において理解が十分と判断される場合に限り合格とし、最終評価点は平均点とします。 ●ただし、何れかの分野において、理解が不十分な場合には、平均点に関係なく「基礎感染症学・講義」の単位は修得できません。 ●受講態度・実習態度およびレポートも評価項目とする場合があります。 ●チュートリアル講義は出席と小テストを評価項目とします。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	細菌学講義には初回から、完充電済のノートパソコンまたはタブレットが必須です。manabaに接続できるようにしておいて下さい。スマホの使用は不可です。 面談その他は、随時可能です。特に、放課後5時から7時を学生面談の標準時間にしています。 ウイルス学連絡先(金井): kkanai@tottori-u.ac.jp 医動物学連絡先(大槻): otsuki@tottori-u.ac.jp 細菌学連絡先(小幡): fumikoobata@tottori-u.ac.jp	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	以下の実務経験を持つ教員が、各自の専門分野に関する講義を行う。 ●ウイルス学分野: 本学・他大学医学部に於ける学生講義と研究。国内外研究施設に於ける研究。病院診療。政府開発援助による臨床検査指導。ワクチンメーカーに於ける製造・品質検査。 ●細菌学分野: 本学・他大学医学部に於ける学生実習指導と研究。国内外研究施設に於ける研究。政府開発援助による臨床検査指導。ワクチンメーカーに於ける製造・品質検査。 行政機関における食肉衛生検査。 ●医動物学分野: 本学・他大学医学部に於ける学生講義と研究。国内外研究施設に於ける研究。病院診療。寄生虫症例についての医療相談。 ●臨床感染症学講座: 本学・他医療機関における感染症臨床と研究。本学・他大学医学部における学生講義と研究。国内保健医療行政における感染症についての助言と政策立案	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[10/20(月)1時限]【121講義室】	ウイルス学総論(1)／【キーワード】輸入感染症、市中感染症、サーベイランス、流行制御、医療機関・地方と中央行政・国際機関	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
2[10/23(木)1時限]【121講義室】	ウイルス学総論(2)／【キーワード】形態、構造と分類、細胞死、発癌、伝播経路、複製(増殖)、免疫と自然経過、免疫回避、流行	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
3[10/23(木)2時限]【121講義室】	寄生虫学総論／【キーワード】感染様式、伝播様式、宿主特異性、寄生虫の検査、人獣共通感染症、日本と世界の寄生虫症の現在	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
4[10/27(月)1時限]【121講義室】	蠕虫・原虫総論／【キーワード】吸虫、条虫、線虫、形態、生活史、感染経路、原虫、生活史、感染経路、宿主特異性、臓器特異性	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
5[10/30(木)1時限]【323講義室】	細菌学総論(1) 細菌の分類と構造、物質代謝／【キーワード】莢膜、細胞壁、鞭毛、芽胞、代謝	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
6[10/30(木)2時限]【323講義室】	細菌学総論(3) 細菌の遺伝学、病原性、診断法／【キーワード】プラスミド、バクテリオファージ、伝達、変異、毒素	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
7[10/31(金)1時限]【121講義室】	消化管寄生線虫症／【キーワード】回虫、鉤虫、鞭虫、蟯虫、糞線虫、フィリピン毛細虫、東洋眼虫	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
8[11/5(水)1時限]【131講義室】	消化管、組織寄生条虫症／【キーワード】日本海裂頭条虫、大複殖門条虫、無鉤条虫、有鉤条虫、有鉤囊虫症	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・近藤 陽子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
9[11/6(木)1時限]【121講義室】	細菌学総論(2) 細菌感染の機構と細菌毒素／【キーワード】感染経路、潜伏期、定着因子、細菌毒素	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・柴田 敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
10[11/6(木)2時限]【121講義室】	細菌学総論(4) 消毒と滅菌、感染症法、化学療法／【キーワード】消毒薬、加熱滅菌、オートクレーブ、濾過滅菌、抗菌薬	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
11[11/7(金)1時限]【323講義室】	ウイルス学総論(3)／【キーワード】診断と検査、抗ウイルス薬、遺伝子変異、薬剤耐性、滅菌と消毒	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
12[11/10(月)1時限]【131講義室】	ウイルス学各論(1) Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses と感染症／【キーワード】Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
13[11/13(木)1時限]【323講義室】	ウイルス学各論(1続き) Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses と感染症／【キーワード】Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

14[11/13(木)2時限]【323講義室】	ウイルス学各論(2) Hepatitis A, B, C, D, E viruses と感染症／【キーワード】Hepatitis A, B, C, D, E viruses	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
15[11/14(金)1時限]【323講義室】	幼虫移行症／【キーワード】イヌ回虫、フタ回虫、アライグマ回虫、広東住血線虫	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】病態検査学・伊藤 大輔／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
16[11/20(木)1時限]【121講義室】	幼虫移行症／【キーワード】アニサキス、顎口虫、旋尾線虫、マンソン孤虫、芽殖孤虫	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
17[11/20(木)2時限]【121講義室】	血液・リンパ系寄生、組織寄生／【キーワード】バンクロフト系状虫、回旋系状虫、メジナ虫、旋毛虫	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
18[11/21(金)1時限]【121講義室】	門脈・肝・胆道系、消化管寄生吸虫症／【キーワード】住血吸虫、セルカリア皮膚炎、肝蛭、肝吸虫、横川吸虫	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
19[11/25(火)3時限]【323講義室】	肺寄生虫症／【キーワード】ニューモシスチス、肺吸虫、犬糸状虫	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
20[11/25(火)4時限]【323講義室】	細菌学各論(1) グラム陽性有芽胞桿菌細菌学／【キーワード】炭疽菌とバシラス属、クロストリジウム属	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
21[11/26(水)3時限]【323講義室】	ウイルス学各論(3) 各種herpesviruses と感染症／【キーワード】各種herpesviruses、潜伏と再活性化	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
22[11/26(水)4時限]【323講義室】	ウイルス学各論(3続き) 各種herpesviruses と感染症／【キーワード】各種herpesviruses、潜伏と再活性化	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
23[11/27(木)1時限]【323講義室】	血液・組織寄生原虫症／【キーワード】マラリア	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学(非常勤講師)・坪井 敬文／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
24[11/27(木)2時限]【323講義室】	血液・組織寄生原虫症／【キーワード】マラリア	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学(非常勤講師)・坪井 敬文／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
25[11/28(金)1時限]【121講義室】	消化管・肝、脳寄生虫症／【キーワード】エキノコックス、赤痢アメーバ、病原性自由生活性アメーバ	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
26[12/1(月)3時限]【121講義室】	消化管、生殖器、血液・組織寄生原虫症／【キーワード】クリプトスポリジウム、ジアルジア、トリコモナス、トキソプラズマ	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
27[12/1(月)4時限]【121講義室】	各論(10) 抗酸菌／【キーワード】結核菌、非結核性抗酸菌、細胞内寄生性、結核ワクチン、らい菌	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
28[12/3(水)3時限]【感染・生化学】	顕微鏡の使い方	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】全分野・感染制御学講座全教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

29[12/3(水)4時限]【感染・生 化】	顕微鏡の使い方	manabaの「基礎感染症学・実習」 コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】全分野・感染制御学講座 全教員／(対面可:対面、対面不可: パターン1遠隔(資料・課題学習))
30[12/4(木)1時限]【121講義 室】	細菌学各論(3) 腸内細菌科の細菌／【キーワード】下痢原 性大腸菌、赤痢、サルモネラ、腸チフス、ペ ストとエルシニア属	manabaの「基礎感染症学・実習」 コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子／(対 面可:対面、対面不可:パターン3遠隔 (リアルタイム学習))
31[12/4(木)2時限]【121講義 室】	血液・組織寄生原虫症／【キーワード】トリパ ノソーマ、リーシュマニア、熱帯医学	教科書を読んで当該部分を予習す ること 配布された講義資料やノートで復習 すること	【担当者】病態検査学・伊藤 大輔／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠 隔(リアルタイム学習))
32[12/5(金)1時限]【121講義 室】	病原保有、病原伝播／【キーワード】ツツガ ムシ、日本紅斑熱、ライム病、SFTS、マダニ	教科書を読んで当該部分を予習す ること 配布された講義資料やノートで復習 すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対 面可:対面、対面不可:パターン3遠隔 (リアルタイム学習))
33[12/8(月)3時限]【ETU3- 3~13.感染・生化】	医動物学実習・線虫類／【キーワード】回 虫、蟯虫、糞線虫、アニサキス	教科書・講義資料を読んで当該部分 を予習し 実習資料で復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均、近藤 陽子、病態検査学・伊藤 大輔／(対 面可:対面、対面不可:パターン1遠隔 (資料・課題学習))
34[12/8(月)4.5時限]【ETU3- 3~13.感染・生化】	医動物学実習・吸虫類／【キーワード】肺吸 虫、日本住血吸虫、肝蛭、肝吸虫、横川吸 虫	教科書・講義資料を読んで当該部分 を予習し 実習資料で復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均、近藤 陽子、病態検査学・伊藤 大輔／(対 面可:対面、対面不可:パターン1遠隔 (資料・課題学習))
35[12/10(水)3時限]【112講 義室】	細菌学各論(4). ビブリオ属／【キーワード】コレラ、腸炎ビブ リオ、ビブリオブルニフィカス	manabaの「基礎感染症学・実習」 コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子／(対 面可:対面、対面不可:パターン3遠隔 (リアルタイム学習))
36[12/10(水)4時限]【112講 義室】	ウイルス学各論(4) Measles, Mumpus, Rubella, Parvoviruses と感染症, ワクチンと 予防接種／【キーワード】Measles, Mumpus, Rubella, Parvoviruses, ワクチン, 予防接種	manabaの「基礎感染症学・実習」 コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／ (対面可:対面、対面不可:パターン1遠 隔(資料・課題学習))
37[12/11(木)1時限]【121講 義室】	ウイルス学各論(5) Adeno, Calici, Rota, Enteroviruses と感染症／【キーワード】 Adeno, Calici, Rota, Enteroviruses	manabaの「基礎感染症学・実習」 コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／ (対面可:対面、対面不可:パターン1遠 隔(資料・課題学習))
38[12/11(木)2時限]【121講 義室】	ウイルス学各論(6) Papillomavirus と感染症 ／【キーワード】Papillomavirus	manabaの「基礎感染症学・実習」 コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／ (対面可:対面、対面不可:パターン1遠 隔(資料・課題学習))
39[12/12(金)1時限]【121講 義室】	病害動物、ダニアレルギー／【キーワード】 毒蛇咬傷・ハチ刺傷、疥癬、ケジラミ、アレ ルギー、ヒョウヒダニ	教科書を読んで当該部分を予習す ること 配布された講義資料やノートで復習 すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対 面可:対面、対面不可:パターン3遠隔 (リアルタイム学習))
40[12/15(月)3時限]【ETU3- 3~13.感染・生化】	医動物学実習・条虫類／【キーワード】エキ ノコックス、日本海裂頭条虫、マンソン裂頭 条虫、無鉤条虫	教科書・講義資料を読んで当該部分 を予習し 実習資料で復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均、近藤 陽子、病態検査学・伊藤 大輔／(対 面可:対面、対面不可:パターン1遠隔 (資料・課題学習))
41[12/15(月)4.5時限] 【ETU3-3~13.感染・生化】	医動物学実習・原虫類／【キーワード】赤痢 アメーバ、ジアルジア、クリプトスポリジウ ム、	教科書・講義資料を読んで当該部分 を予習し 実習資料で復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均、近藤 陽子、病態検査学・伊藤 大輔／(対 面可:対面、対面不可:パターン1遠隔 (資料・課題学習))
42[12/17(水)3時限]【112講 義室】	真菌学総論／【キーワード】二形性、孢子、 深在性真菌症、表在性真菌症、真菌アレ ルギー、マイコトキシン、日和見感染、基礎疾 患	manabaの「基礎感染症学・実習」 コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学(非常勤講師)・榎 村 浩一／(対面可:対面、対面不 可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

43[12/17(水)4時限][112講義室]	真菌学各論／【キーワード】カンジダ症、アスペルギルス症、クリプトコッカス症、ムコール症、皮膚糸状菌症	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学(非常勤講師)・榎村 浩一／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
44[12/18(木)1時限][323講義室]	細菌学各論(2) グラム陽性球菌、グラム陰性球菌／【キーワード】ブドウ球菌、レンサ球菌、淋菌、髄膜炎菌	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・柴田 敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
45[12/18(木)2時限][323講義室]	ウイルス学各論(7) Influenza／【キーワード】Influenzaviruses,	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
46[12/22(月)3時限][ETU3-3~13,感染・生化]	総合感染症学実習・原虫類／【キーワード】熱帯熱マラリア、三日熱マラリア	教科書・講義資料を読んで当該部分を予習し 実習資料で復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均、近藤陽子、病態検査学・伊藤 大輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
47[12/22(月)4.5時限][ETU3-3~13,感染・生化]	総合感染症学実習・原虫類／【キーワード】トキソプラズマ、ニューモシスチス、マダニ	教科書・講義資料を読んで当該部分を予習し 実習資料で復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均、近藤陽子、病態検査学・伊藤 大輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
48[12/23(火)3時限][323講義室]	細菌学各論(5)緑膿菌、ブルセラ、リステリア、ジフテリア／【キーワード】緑膿菌、ブルセラ症、野兔病、ネコひっかき病、リステリア症、ジフテリア	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
49[12/23(火)4時限][323講義室]	細菌学各論(9) 口腔細菌／【キーワード】口腔細菌、歯周病菌、誤嚥性肺炎	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
50[12/24(水)3時限][121講義室]	細菌学各論(6) クラミジア科、リケッチア目／【キーワード】偏性細胞内寄生性、媒介節足動物、性感染症	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・柴田 敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
51[12/24(水)4時限][121講義室]	ウイルス学各論(8) 呼吸器感染症／【キーワード】Parainfluenzaviruses, RS viruses, Rhinoviruses, Metapneumo, Boca, SARS-CoV, MERS-CoV,	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
52[12/25(木)1時限][121講義室]	ウイルス学各論(9) HTLV-I, HIV-1,2と感染症／【キーワード】HTLV-I, HIV-1,2	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
53[12/25(木)2時限][121講義室]	ウイルス学各論(10) BK/JC viruses, Prionと感染症／【キーワード】BK/JC viruses, Prion	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
54[12/26(金)4時限][121講義室]	細菌学各論(7) レジオネラと呼吸器感染症／【キーワード】レジオネラ、百日咳菌、インフルエンザ菌	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・柴田 敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
55[1/5(月)3時限][323講義室]	細菌学各論(8) カンピロバクターとヘリコバクター／【キーワード】食中毒、小児下痢症、慢性胃炎と胃潰瘍、胃がん、ウレアーゼ試験	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・柴田 敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
56[1/5(月)4時限][323講義室]	総合感染症学:医師・旅行者のための予防接種と抗体検査／【キーワード】予防接種、抗体価と感染、医療関係者、旅行者	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】感染制御部・岡田 健作／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
57[1/6(火)3時限][323講義室]	細菌学各論(11)マイコプラズマ科細菌、スピロヘータ、放線菌類／【キーワード】マイコプラズマ肺炎、非淋菌性尿道炎、ライム病、ワイル病、梅毒、アクチノマイセス、ノカルジア	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・柴田 敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))

58[1/6(火)4時限][323講義室]	細菌学各論(12) 食中毒と集団感染／【キーワード】集団感染、食中毒、腸管出血性大腸菌O157、ワンヘルス	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
59[1/7(水)3時限][121講義室]	総合感染症学:総括と臨床感染症学への繋ぎ／【キーワード】各種ウイルス、予防、治療、研究	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
60[1/7(水)4時限][121講義室]	総合感染症学:寄生虫症の診断と治療／【キーワード】臨床寄生虫学、好酸球増多、免疫診断、遺伝子診断、駆虫薬	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・大槻 均／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
61[1/8(木)1時限][121講義室]	寄生虫感染と免疫応答／【キーワード】寄生虫感染と免疫応答、免疫抑制因子	教科書を読んで当該部分を予習すること 配布された講義資料やノートで復習すること	【担当者】医動物学・近藤 陽子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
62[1/8(木)2時限][121講義室]	感染症チュートリアル 全体説明／【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】全分野・感染制御学講座 全教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
63[1/9(金)3時限][ETU3-3~13,感染・生化]	細菌学実習・手指衛生と環境細菌、無菌操作、グラム染色／【キーワード】皮膚常在菌、Genus Staphylococcus, Genus Bacillus, 緑膿菌、グラム染色性	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子、柴田敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
64[1/9(金)4.5時限][ETU3-3~13,感染・生化]	細菌学実習・手指衛生と環境細菌、無菌操作、グラム染色／【キーワード】同上	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子、柴田敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
65[1/13(火)3時限][ETU3-3~13,感染・生化]	細菌学実習・鼻前庭および咽頭の常在菌／【キーワード】Genus Streptococcus、溶血環	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子、柴田敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
66[1/13(火)4.5時限][ETU3-3~13,感染・生化]	細菌学実習・鼻前庭および咽頭の常在菌／【キーワード】同上	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子、柴田敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
67[1/14(水)1時限][ETU2-5~8,3-3~13]	感染症チュートリアル 1-1／【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】全分野・感染制御学講座 全教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
68[1/14(水)2時限][ETU2-5~8,3-3~13]	感染症チュートリアル 1-2／【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】全分野・感染制御学講座 全教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
69[1/15(木)3時限][ETU3-3~13,感染・生化]	細菌学実習・下痢原因菌の同定(1)／【キーワード】腸管出血性大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、コレラ等	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子、柴田敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
70[1/15(木)4.5時限][ETU3-3~13,感染・生化]	細菌学実習・下痢原因菌の同定(1)／【キーワード】同上	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子、柴田敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
71[1/16(金)1時限][ETU2-5~8,3-3~13]	感染症チュートリアル 1-3／【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習」コースに アップされる内容を参照すること	【担当者】全分野・感染制御学講座 全教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

72[1/16(金)2時限][ETU2-5~8,3-3~13]	感染症チュートリアル 1-4【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】全分野・感染制御学講座全教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
73[1/19(月)3時限][ETU3-3~13,感染・生化]	細菌学実習・下痢原因菌の同定(2)【キーワード】腸管出血性大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、コレラ等	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子、柴田敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
74[1/19(月)4.5時限][ETU3-3~13,感染・生化]	細菌学実習・下痢原因菌の同定(2)【キーワード】同上	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・小幡 史子、柴田敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
75[1/20(火)3時限][323講義室]	ウイルス学実習の説明【キーワード】ウイルス検査手技、細胞変性効果、HA、HI、PCR	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
76[1/20(火)4時限][323講義室]	感染症チュートリアル 1-5(解説)【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ解説、小テスト	manabaの「基礎感染症学・実習(医動物)」で告知される内容に従うこと	【担当者】感染制御学講座全教員、臨床感染症学教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
77[1/21(水)1時限][ETU2-5~8,3-3~13]	感染症チュートリアル 2-1【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習(医動物)」で告知される内容に従うこと	【担当者】全分野・感染制御学講座全教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
78[1/21(水)2時限][ETU2-5~8,3-3~13]	感染症チュートリアル 2-2【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習(医動物)」で告知される内容に従うこと	【担当者】全分野・感染制御学講座全教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
79[1/22(木)3時限][ETU3-3~13,感染・生化]	細菌学実習・真菌【キーワード】アスペルギルス、白癬菌、カンジダ	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・榎村 浩一(非常勤講師)、小幡 史子、柴田 敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
80[1/22(木)4時限][ETU3-3~13,感染・生化]	細菌学実習・真菌【キーワード】同上	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】細菌学・榎村 浩一(非常勤講師)、小幡 史子、柴田 敏史／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
81[1/23(金)3時限][ETU2-5~8,3-3~13]	感染症チュートリアル 2-3【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習(医動物)」で告知される内容に従うこと	【担当者】全分野・感染制御学講座全教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
82[1/23(金)4時限][ETU2-5~8,3-3~13]	感染症チュートリアル 2-4【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】全分野・感染制御学講座全教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
83[1/26(月)3時限][ETU3-3~13,感染・生化]	ウイルス学実習:細胞変性効果【キーワード】細胞形態の変化、細胞死、倒立顕微鏡	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
84[1/26(月)4時限][ETU3-3~13,感染・生化]	ウイルス学実習:細胞変性効果【キーワード】同上	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
85[1/27(火)3時限][323講義室]	感染症チュートリアル2-5(解説)【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】感染制御学講座全教員、臨床感染症学教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

86[1/27(火)4時限]【323講義室】	予備／【キーワード】		【担当者】
87[1/28(水)1時限]【ETU2-5~8,3-3~13】	感染症チュートリアル 3-1／【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】全分野・感染制御学講座全教員／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)）
88[1/28(水)2時限]【ETU2-5~8,3-3~13】	感染症チュートリアル 3-2／【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】全分野・感染制御学講座全教員／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)）
89[1/29(木)3時限]【ETU3-3~13,感染・生化】	ウイルス学実習：血清検査／【キーワード】血清、抗原、抗体、HA、HI	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)）
90[1/29(木)4時限]【ETU3-3~13,感染・生化】	ウイルス学実習：血清検査／【キーワード】同上	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)）
91[1/30(金)3時限]【ETU2-5~8,3-3~13】	感染症チュートリアル 3-3／【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】全分野・感染制御学講座全教員／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)）
92[1/30(金)4時限]【ETU2-5~8,3-3~13】	感染症チュートリアル 3-4／【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ討論	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】感染制御学講座全教員、臨床感染症学教員／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)）
93[2/2(月)1時限]【122講義室】	予備／【キーワード】		【担当者】
94[2/2(月)3時限]【ETU3-3~13,感染・生化】	ウイルス学実習：核酸検査／【キーワード】遺伝子増幅、PCR、電気泳動、分子量、遺伝子配列	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)）
95[2/2(月)4時限]【ETU3-3~13,感染・生化】	ウイルス学実習：核酸検査／【キーワード】同上	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】ウイルス学・金井 亨輔／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)）
96[2/3(火)3時限]【323講義室】	感染症チュートリアル 3-5(解説)／【キーワード】病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御、臨床シナリオ解説、小テスト	manabaの「基礎感染症学・実習」コースにアップされる内容を参照すること	【担当者】感染制御学講座全教員、臨床感染症学教員／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)）

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7205071	ナンバリング /Subject Code	MMPAT3601
科目名 /Subject Name	病理学総論		
英文科目名 /Subject English Name	Introduction to Pathology		
担当教員 /Teacher Name	梅北 善久,桑本 聡史,坂部 友彦,尾崎 加苗		
クラス /Class		開講学期 /Class	後期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	後期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	梅北 善久、尾崎加苗、坂部友彦（病理学講座） 桑本聡史（病理部）		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	毎週水曜日、午後5時以降		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	病理学講座研究室1（総合研究棟2F）に来てください。 または(yume@tottori-u.ac.jp)へ連絡してください、件名に科目名・曜日・時限、本文に学 生番号・氏名を必ず記載すること。		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	病理学とは、病因と病態形成を追及する学問であり、伝統的に形態学を主な手段として、病理解剖学、病理組織学、細胞 病理学などを主軸とするが、様々な方法論（生化学、分子生物学、免疫学、遺伝学など）が駆使されてきている。病因と病 態形成という概念を学修することによって、実臨床において、科学的根拠を与える学問であることを理解することを目的 とする。講義と実習を交えることにより、より理解を深めるように工夫されている。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	細胞傷害、炎症、腫瘍、循環傷害		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	病因と病態（遺伝子異常と疾患、発生発達異常、細胞傷害・変性と細胞死、代謝障害、循環傷害、炎症と創傷治癒、 感染、腫瘍）及び関連する代表的な病理組織像について理解できる		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	生化学・生理学と重複する内容もあるため、その都度、復習しておくことが望ましい。組織学は、病理組織実習の基礎と なる科目であるため、入念に復習しておくこと。また、病理学総論は、病理学各論の基礎となる科目であるため、中途半 端に履修すると3年前期の各論履修時に支障を来すことを意識してほしい。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	参考書(講義用推奨)：Basic Pathology (11th eds.) 参考書(実習用推奨)：病理組織の見方と鑑別診断(医歯薬出版)，組織病理アトラス(文光堂)		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内			

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験(70～80%)・実習試験(20～30%)。定期試験・実習試験の受験資格として講義・実習それぞれ4/5以上の出席を要する。実習の受講態度が不良の者は実習試験の受験を認めない。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内		
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[11/26(水)1時限]【組織系実習室】	講義 1: 病理学について、環境要因・栄養障害／【キーワード】病理専門医、チクロームP-450、経口避妊薬、物理的因子による傷害、蛋白エネルギー栄養障害	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
2[11/26(水)2時限]【組織系実習室】	講義 2: 細胞傷害・変性と細胞死(1)／【キーワード】ATP、フリーラジカル、凝固壊死、液化壊死、乾酪壊死、脂肪壊死、フィブリノイド壊死、アポトーシス、萎縮	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
3[11/27(木)3時限]【組織系実習室】	講義 3: 循環障害(1)／【キーワード】浮腫、水腫、充血、鬱血、ショック、心不全、腎性浮腫、脳浮腫	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理部・桑本聡史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
4[11/27(木)4時限]【組織系実習室】	講義 4: 腫瘍(1)／【キーワード】異型度、多形性、退形成、異形成、浸潤、転移、分化度、上皮内癌、腺癌、扁平上皮癌、尿路上皮癌、未分化癌、過形成、肥大	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
5[12/3(水)1時限]【121講義室】	講義 5: 腫瘍(2)／【キーワード】肉腫、原発不明癌、ラテント癌、TNM分類、腫瘍マーカー、癌幹細胞、Niche、Plasticity 播種、ラテント癌、幹細胞、ニッチ、腫瘍マーカー、TNM分類、原発不明癌	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
6[12/3(水)2時限]【121講義室】	講義 6: 細胞傷害・変性と細胞死(2)／【キーワード】細胞内蓄積症(脂質、蛋白、硝子変性、グリコーゲン、色素)、病的石灰化(異栄養性石灰化、転移性石灰化)、Autophagy、細胞老化	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
7[12/4(木)3時限]【121講義室】	講義 7: 循環障害(2)／【キーワード】出血、凝固機序、出血性素因、血栓症、血小板、線溶系	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理部・桑本聡史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
8[12/4(木)4時限]【121講義室】	講義 8: 腫瘍(3)／【キーワード】職業癌、遺伝性腫瘍症候群、前癌病変、炎症性発癌、中皮腫、アスベスト、メチル化、がんゲノム	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
9[12/10(水)1時限]【組織系実習室】	実習 1: 腫瘍(1)／【キーワード】扁平上皮癌、腺癌、尿路上皮癌、印環細胞癌、過形成ホリフ	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久／坂部彦彦／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
10[12/10(水)2時限]【組織系実習室】	実習 2: 細胞傷害・変性と細胞死(1)／【キーワード】脂肪沈着、細胞質内ヒアリン、病的石灰化、リボフスチン、色素沈着、胆汁うっ滞、メラニン沈着、アミロイド沈着、ライソゾーム病、壊死のパターン	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗／野内直子／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
11[12/11(木)3時限]【121講義室】	講義 9: 循環障害(3)／【キーワード】塞栓症、塞栓の種類、肺塞栓症、白色梗塞、赤色梗塞	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理部・桑本聡史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
12[12/11(木)4時限]【121講義室】	講義 10: 腫瘍(4)／【キーワード】EGFR、RAS、HER2、TGF- α 、ドライン・変異、MYC、Cyclins、RB、p53、microRNA、WT1、p16、BRCA1、TGF- β 、EMT、NF1、APC、b-catenin、	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

13[12/17(水)1時限]【組織系実習室】	講義 11: 腫瘍 (5)／【キーワード】PTEN, VHL, HIF1, Apoptosis, Cyclins, CDK4, , 細胞老化, テロメア, テロメラーゼ, 間質の微小環境, VEGF, VEGFR, , MSI, ゲノム不安定性, Warburg 効果	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
14[12/17(水)2時限]【組織系実習室】	実習 3: 細胞傷害・変性と細胞死(2)／【キーワード】脂肪沈着, 細胞質内ヒアリン, 病的石灰化, リボフスチン, 色素沈着, 胆汁うっ滞, メラニン沈着, アミロイド沈着, ライソゾーム病, 壊死のパターン	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗 野内直子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
15[12/18(木)3時限]【組織系実習室】	実習 4: 循環障害 (1)／【キーワード】浮腫, 充血, うっ血, 出血, 血栓, 塞栓, 梗塞, ショック	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理部・桑本聡史 病理学講座・坂部友彦／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
16[12/18(木)4時限]【組織系実習室】	講義 12: 遺伝性疾患・発生発達異常／【キーワード】家族性高コレステロール血症, 糖原病, ライソゾーム蓄積病, ミトコンドリア遺伝子変異, ゲノムインプリンティング, リビト病, 多因子遺伝, 変形, 破壊, Down症候群, Klinefelter症候群, Turner症候群	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
17[12/19(金)1時限]【組織系実習室】	実習 5: 循環障害 (2)／【キーワード】浮腫, 充血, うっ血, 出血, 血栓, 塞栓, 梗塞, ショック	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理部・桑本聡史 病理学講座・坂部友彦／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
18[12/24(水)1時限]【組織系実習室】	講義 13: 腫瘍 (6)／【キーワード】HTLV-1, HPV E6, HPV E7, EBV, HBV, Initiation, Promotion, AflatoxinB1, 腫瘍抗原, NK細胞	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・坂部友彦／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
19[12/24(水)2時限]【組織系実習室】	講義 14: 炎症 (1)／【キーワード】炎症の4徴(5徴), 急性炎症, 慢性炎症, 炎症細胞の概略	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
20[12/25(木)3時限]【組織系実習室】	講義 15: 免疫病理 (1)／【キーワード】免疫系の細胞, MHC, 液性免疫, 細胞性免疫, I 型-IV型アレルギー	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理部・桑本聡史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
21[12/25(木)4時限]【組織系実習室】	実習 6: 腫瘍 (2)／【キーワード】平滑筋腫, 平滑筋肉腫, 脂肪腫, 脂肪肉腫, 神経鞘腫	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久 坂部友彦／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
22[1/7(水)1時限]【組織系実習室】	講義 16: 腫瘍 (7)／【キーワード】細胞外基質, EMT, MMPs, E-cadherin, Catenins, Cathepsin, Laminin	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・坂部友彦／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
23[1/7(水)2時限]【組織系実習室】	講義 17: 炎症 (2)／【キーワード】白血球の遊走, 走化, phagocytosis, サイトカイン, NETs, 漿液性炎, 線維素性炎, 化膿性炎, 潰瘍, 急性炎症の転帰	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
24[1/9(金)1時限]【組織系実習室】	講義 18: 免疫病理 (2)／【キーワード】自己免疫疾患, IgG4関連疾患, アミロイドーシス	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理部・桑本聡史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
25[1/14(水)3時限]【組織系実習室】	講義 19: 炎症 (3)／【キーワード】補体系, 漿液性炎症, 線維素性炎症, 器質化, 化膿性炎症, 潰瘍	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

26[1/14(水)4時限]【組織系実習室】	講義 20: 炎症 (4)／【キーワード】Barrette食道, 慢性胃炎, 単球, マクロファージ, M1/M2マクロファージ, 三次リンパ組織様構造, 肉芽腫性炎症	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
27[1/15(木)1時限]【組織系実習室】	実習 7: 腫瘍 (3)／【キーワード】多形腺腫, 線維腺腫, 成熟嚢胞性奇形腫	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久 坂部友彦／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
28[1/15(木)2時限]【組織系実習室】	講義 21: 免疫病理 (3)／【キーワード】拒絶反応, GVHD, 原発性免疫不全症, AIDS, がん免疫療法	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・桑本聡史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
29[1/21(水)3時限]【組織系実習室】	講義 22: 創傷治癒／【キーワード】組織細胞反応, 肉芽組織反応, 間質細胞, 組織修復, 細胞増殖因子, 細胞外マトリックス, 再生	当該授業部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
30[1/21(水)4時限]【組織系実習室】	実習 8: 炎症 (1)／【キーワード】漿液性炎症, 線維索性炎症, 器質化, 化膿性炎症, 潰瘍	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗 石井弘司／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
31[1/22(木)1時限]【組織系実習室】	実習 9: 免疫病理／【キーワード】関節リウマチ, シェーグレン症候群, SLE, 皮膚筋炎, GVHD, 急性細胞性拒絶反応	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。講義後も講義内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・桑本聡史 病理学講座・坂部友彦／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
32[1/22(木)2時限]【組織系実習室】	実習 10: 総復習／【キーワード】病理学総論で学習した疾患, 病理診断名, 病理組織所見, 臓器同定	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久 坂部友彦 他／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
33[1/23(金)1時限]【組織系実習室】	実習 11: 炎症 (2)／【キーワード】急性化膿性気管支肺炎, 大葉性肺炎, 肺線維症, ウイルス性肝炎, 肝硬変, 慢性胆嚢炎, 珪肺症, 肺結核	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗 石井弘司／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
34[1/28(水)3時限]【組織系実習室】	実習 12: 炎症 (3)／【キーワード】急性化膿性気管支肺炎, 大葉性肺炎, 肺線維症, ウイルス性肝炎, 肝硬変, 慢性胆嚢炎, 珪肺症, 肺結核	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗 石井弘司／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
35[1/28(水)4時限]【組織系実習室】	実習 13: 創傷治癒／【キーワード】組織細胞反応, 肉芽組織反応, 間質細胞, 組織修復	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・尾崎加苗 野内直子／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
36[1/29(木)1時限]【組織系実習室】	実習 14: 総復習／【キーワード】病理学総論で学習した疾患, 病理診断名, 病理組織所見, 臓器同定	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久 坂部友彦 他／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
37[1/29(木)2時限]【組織系実習室】	実習 15: 総復習／【キーワード】病理学総論で学習した疾患, 病理診断名, 病理組織所見, 臓器同定	当該実習部分の教科書を読んでおくこと(1時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために復習に励むこと(1時間)。	【担当者】病理学講座・梅北善久 坂部友彦 他／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
38[1/30(金)1時限]【組織系実習室】	実習試験／【キーワード】病理学総論で学習した疾患, 病理診断名, 病理組織所見, 臓器同定	実習試験終了後、出題された問題を中心に復習に励むこと。	【担当者】病理学講座・梅北善久 桑本聡史 坂部友彦 他／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7204029	ナンバリング /Subject Code	MXSOM2003
科目名 /Subject Name	社会環境医学		
英文科目名 /Subject English Name	Social and Environmental Medicine		
担当教員 /Teacher Name	尾崎 米厚,森田 明美,天野 宏紀,大谷 眞二,金城 文,増本 年男,桑原 祐樹,金 弘子		
クラス /Class		開講学期 /Class	後期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	後期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹(環境予防医学、総合研究棟6階) 森田 明美、天野 宏紀、増本 年男(健康政策医学、総合研究棟6階)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	尾崎 米厚(4・5月:火曜日午前、6・7月:木曜日午前、9・10月:月曜日午後)、森田 明美(水曜日・木曜日17:00～18:00)、天野 宏紀(4・5月:火曜日午前、6・7月:木曜日午前、9・10月:月曜日午後)、金城 文(4・5月:火曜日午前、6・7月:木曜日午前、9・10月:月曜日午後)、増本 年男(4・5月:火曜日午前、6・7月:木曜日午前、9・10月:月曜日午後)、桑原 祐樹(4・5月:火曜日午前、6・7月:木曜日午前、9・10月:月曜日午後)		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	担当教員所属研究室の電話番号:環境予防医学分野(0859-38-6103)、健康政策医学(0859-38-6113)		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	人類史において、社会の発展段階に応じて、人間の健康問題やその対処技術、対処方法は変化してきた。健康状態の保持、疾病の発症、死亡の発生には、病原体の存在、遺伝、生活習慣、職業、教育、環境、社会構造など様々な要因が関連している。本講義では、健康、疾病を取り巻く社会的な環境について理解し、人々の健康をまもるための公衆衛生の理論やアプローチ、制度や政策を学ぶ。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	公衆衛生、環境保健、医療保健福祉制度		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	・健康、疾病を取り巻く社会的環境を理解する。 ・公衆衛生の理論とアプローチを理解する。 ・医療保健福祉制度を理解する。 ・環境が健康に与える影響を学ぶ。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	当科目で習得した内容は、社会医学チュートリアル実習(医学科4年)で応用されます。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	「国民衛生の動向」(厚生労働統計協会)		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義、演習		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験(90%)、講義演習での態度(10%)	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	公衆衛生の理論やアプローチは、どんな専門分野を選んでも、将来医師として従事する上で、理解しておく必要があります。社会全体の健康度の向上を目指した、制度構築や政策立案といった社会への介入は、疾病の予防から、病気があっても人々がその人らしく生活できるような社会をつくることまで、さまざまな領域に及びます。本講義では、公衆衛生の多様な分野で活躍している専門家からも講義を受けることができます。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	自治体、機関、企業で関連分野に関わる教員、特別講師が各自の専門分野に関する講義を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[10/15 (水)1時限] 【131講義室】	疾病の概念、健康寿命／【キーワード】健康の定義、健康水準の尺度、健康の権利、WHOの定義、健康寿命、学校保健安全法、学校医、養護教諭、学校健診、学校感染症	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	【担当者】環境予防医学・金城 文／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
2[10/15 (水)2時限] 【131講義室】	社会構造と健康・疾病／【キーワード】社会の変動、地域社会、人口構造、世帯・家族の構成、疾病構造、産業の変化、労働力人口の変化(正規雇用、非正規雇用、高齢者労働)、健康の社会決定要因、プライマリヘルスケア、健康教育・健康管理、生活様式、行動変容、高齢化、国際化	当該部分を参考書などで予習し、講義後復習として小テストや形成評価試験に回答し概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学・森田 明美／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
3[10/17(金)1時限] 【112講義室】	公衆衛生の概念、公衆衛生理論／【キーワード】公衆衛生の概念、地域共生社会、予防の三段階、主な公衆衛生活動、ヘルスプロモーション、アドボカシー、ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ、健康の社会決定要因、健康格差、ソーシャルキャピタル、行動経済学、ナッジ、SDH	予習:公衆衛生という単語が出ているニュースをしらべ、どのような意味合いで使われているかを考察しておく。復習:主な公衆衛生活動理論を説明できるようにしておく。	【担当者】環境予防医学・尾崎 米厚／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
4[10/21 (火)1時限] 【112講義室】	地域保健関連の制度、法律／【キーワード】地域保健制度、地域保健法、基本指針、保健所設置要件、保健所の活動概要、市町村保健センター、公衆衛生人材、保健師活動、地域診断	予習:地域保健に関係があると思われるニュースを読んでもおく。復習:日本の地域保健の制度と主な施設、主な専門家について説明できるようにする。	【担当者】環境予防医学・尾崎 米厚／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
5[10/22 (水)2時限] 【131講義室】	社会保障、医療・介護保険制度のこれから／【キーワード】社会保障制度改革、医療・介護ビッグデータ、レセプト、医療経済、地域医療構想、地域包括ケアシステム、医療機能・病院機能、医療と介護の一体的な改革、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、社会保障の国際比較	当該授業部分を参考書などで予習し、講義後復習として概要等をまとめること。	【担当者】健康政策医学 (非常勤講師)・松田 晋哉／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
6[10/24 (金)1時限] 【112講義室】	社会保障制度、医療保険制度／【キーワード】生存権・基本的人権、社会保障制度の枠組み、医療保険制度、国民皆保険、保険医、保険医療機関、医療保険制度の変遷、医療職種、チーム医療、医師法、医療法、保健対策の仕組みと資源	当該部分を参考書などで予習し、講義後復習として小テストや形成評価試験に回答し概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学・天野 宏紀／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
7[10/28 (火)1時限] 【112講義室】	社会福祉、障害者福祉／【キーワード】社会福祉制度、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、QOL、リハビリテーション、障害者の福祉施策、障害者基本計画、障害者手帳、在宅障害児・者、障害者総合支援法、国際生活機能分類(ICF)、地域福祉、生活保護(公的扶助)	当該部分を参考書などで予習し、講義後復習として小テストや形成評価試験に回答し概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学・天野 宏紀／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
8[11/4 (火)1時限] 【131講義室】	地域保健:都道府県庁、保健所の活動(事例)／【キーワード】都道府県庁、県の健康づくり計画、健康日本21、ヘルスプロモーション、健康経営、関係者連携	講義で学習した内容に関する課題を提出する。	【担当者】環境予防医学 (非常勤講師)・藤内 修二／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))

9[11/11 (火)1時限] 【131講義室】	精神保健、難病／【キーワード】障害者自立支援法、精神保健指定医、任意入院、措置入院、医療保護入院、精神医療審査会、自立支援医療、精神通院医療、精神保健福祉法、精神保健福祉センター、精神障害者保健福祉手帳、自殺対策、発達障害者支援、高次脳機能障害、心神喪失者等医療観察法、こころのバリアフリー、特定疾患、難治性疾患、難病の医療費助成、難病情報センター	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	【担当者】環境予防医学・金城 文／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
10[11/12 (水)1時限] 【131講義室】	高齢者の医療、保険、介護、福祉／【キーワード】加齢と健康、老人福祉法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度、介護保険法、要介護認定、ケアマネジメント、介護保険施設、居宅サービス、介護給付、介護予防、高齢者総合的機能評価 (CGA)、地域包括支援センター、虐待予防	当該部分を参考書などで予習し、講義後復習として小テストや形成評価試験に回答し概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学・天野 宏紀／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
11[11/12 (水)2時限] 【131講義室】	地域医療政策／【キーワード】医療法、地域医療構想、地域保健医療計画、医療圏、基準病床数、必要病床数、医療資源、地域医療支援病院、都市部における地域医療、病診連携・病病連携、地域連携クリニカルパス、医師会、地域医療政策、医療安全支援センター	当該部分を参考書などで予習し、講義後は形成評価試験の正解を含め概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学・森田 明美／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
12[11/17 (月)1時限] 【131講義室】	母子・小児保健対策と研究／【キーワード】健やか親子21、エコチル調査、母子保健情報、出生コホート、認知・行動発達、政策のための科学、疫学、人類遺伝学	当該部分を参考書などで予習し、講義後復習して概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学 (非常勤講師)・山縣 然太郎／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
13[11/18 (火)1時限] 【131講義室】	喫煙や飲酒／アルコール依存症からの回復／【キーワード】自助グループ、アルコールリクス・アノニマス(AA)	講義で学習した内容に関する課題を提出する。	【担当者】環境予防医学 (非常勤講師)・福岡 裕隆／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
14[11/19 (水)1時限] 【131講義室】	救急医療／【キーワード】救急医療体制、初期(一次)・二次・三次救急、救急医療機関、救命救急センター、救急指定病院、休日夜間急患センター、在宅当番医、救急搬送(ドクターヘリ、ドクターカー、救急車)、特定行為、救急隊員、応急処置(病院前救護)、救急救命士、小児救急、周産期救急、救急医療情報	当該部分を参考書などで予習し、講義後復習して概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学・増本 年男／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
15[11/19 (水)2時限] 【131講義室】	医療経済と国民医療費／【キーワード】国民医療費、医療費の負担と給付、費用対国民医療費、医療費の負担と給付、費用対効果、費用便益、医療費削減方法、診療報酬、公費医療、医療の質の評価、患者満足度、医療資源と医療サービスの価格形成、貧困問題、経済格差・健康格差	当該部分を参考書などで予習し、講義後復習として小テストや形成評価試験に回答し概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学・天野 宏紀／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
16[12/1 (月)1時限] 【131講義室】	統計調査と政策／【キーワード】生活習慣病、健康日本21、国民健康・栄養調査、保健医療データ、健診・保健指導、疫学、生物統計学	当該部分を参考書などで予習し、講義後復習して概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学 (非常勤講師)・横山 徹爾／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))

17[12/2(火)1時限] 【131講義室】	産業保健／【キーワード】産業保健の意義、労働衛生の三管理・五管理、労働基準法、労働安全衛生法、産業医、作業環境管理、作業管理、健康管理、許容濃度、管理濃度、生物学的モニタリング、SDS、労働災害、労働者災害補償保険法、職業性疾病、じん肺（石綿）、放射線、職業性腰痛、働き方改革、トータルヘルスプロモーションプラン、メンタルヘルス、都道府県労働局、労働基準監督署、産業保健総合支援センター、地域産業保健センター	当該授業部分を参考書などで予習し、講義後復習として概要等をまとめること。	【担当者】健康政策医学（非常勤講師）・大谷 真二／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
18[12/8(月)1時限] 【131講義室】	母子保健、学校保健／【キーワード】成育基本法、母子保健法、出産・育児に関する制度、母体保護法、母子保健統計、児童福祉法、児童虐待防止法、妊産婦への施策、疾病や障害を持った子供の支援策	講義で学習した内容に関する課題を提出する。	【担当者】環境予防医学（非常勤講師）・小倉 加恵子／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
19[12/9(火)1時限] 【131講義室】	感染症対策／健康危機管理（感染症）／【キーワード】新興感染症、再興感染症、新感染症、感染症法、検疫法、予防接種法、サーベイランス、隔離、医療体制、特定感染症指定医療機関、院内感染症、患者搬送、アウトブレイク、パンデミック、バイオテロリズム、結核対策、健康危機管理としての感染症対策	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	【担当者】環境予防医学・金城 文／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
20[12/16(火)1時限] 【131講義室】	成人保健／【キーワード】一次予防、二次予防、健康増進法、健康日本21（第三次）、生活習慣病対策、特定健康診査、特定保健指導、がん対策基本法、がん診療連携拠点病院、がん対策推進基本計画	予習：教科書やオンラインで文献検索をしてキーワードについて調べておく、復習：講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	【担当者】環境予防医学・桑原 祐樹／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
21[12/22(月)1時限] 【131講義室】	国際保健医療／【キーワード】国際保健医療協力に関する活動事例、JICA、NGO、感染症対策、ケニア、フィリピン、タイでの活動	予習：国際保健医療協力での活動事例を調べる。復習：国際保健医療の課題に対し、自分が何ができるか考えてみる	【担当者】環境予防医学（非常勤講師）・斉藤 信夫／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
22[12/23(火)1時限] 【131講義室】	健康増進と栄養・運動・休養／【キーワード】健康増進法、健康増進施策、国民健康・栄養調査、食事調査、食事摂取基準、食事バランスガイド、食行動、身体活動、エネルギー消費、睡眠の質、ストレス対策、栄養・運動関連疾患	当該部分を参考書などで予習し、講義後は形成評価試験の正解を含め概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学・森田 明美／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
23[1/5(月)1時限] 【131講義室】	在宅医療、終末期医療、へき地医療、地域医療／【キーワード】地域包括ケアシステム、医療介護総合確保推進法、在宅医療、終末期ケア、緩和ケア、アドバンス・ケア・プランニング、多職種連携、ポリファーマシー、へき地・離島医療	予習：教科書やオンラインで文献検索をしてキーワードについて調べておく、復習：講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	【担当者】環境予防医学・桑原 祐樹／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
24[1/6(火)1時限] 【131講義室】	環境保健：環境と健康、環境基準と環境影響評価／【キーワード】環境と適応、環境要因、ホメオスタシス、主体環境系、環境形成作用、社会的適応、生態環境系、気候変動と健康、SDGs、環境基準、許容濃度、生体影響評価、モニタリングとアセスメント、環境影響評価、環境汚染、生物濃縮、量-反応関係、量-影響関係、リスクコミュニケーション、環境基本法、生活環境に関連する基準と法律	当該部分を参考書などで予習し、講義後復習して概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学・増本 年男／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
25[1/13(火)1時限] 【131講義室】	地域保健：保健所活動／【キーワード】健康づくり活動、環境衛生、保健医療福祉システム作り、健康危機管理、喫煙対策、感染症対策、医師確保対策	講義で学習した内容に関する課題を提出する。	【担当者】環境予防医学（非常勤講師）・長井 大／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））

26[1/19(月)1時限] 【131講義室】	環境保健 公害対策／【キーワード】四大公害病、水俣病、現代の公害、世界の公害、公害対策	予習：公害、環境問題と健康に関するニュースを調べておく。復習：わが国のおもな公害病について説明できるようにし、公害を防止する方法について説明できるようにしておく。	【担当者】環境予防医学・尾崎 米厚 ／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）
27[1/20(火)1時限] 【131講義室】	医薬品・食品と健康、薬事行政／【キーワード】食品衛生法、食中毒、自然毒、食品汚染、食品表示、食品添加物、遺伝子組み換え食品、保健機能食品、特別用途食品、健康食品、HACCP、摂取許容量(ADI)、薬事行政、お薬手帳、保険薬局、薬害、医薬品副作用、生物由来製品感染、被害者救済制度、医薬品医療機器等法、その他の薬事関連法(毒物・劇物、麻薬・向精神薬、覚せい剤)	当該部分を参考書などで予習し、講義後復習して概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学・増本 年男 ／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習)）
28[1/26(月)1時限] 【131講義室】	健康危機管理／災害医療／【キーワード】健康危機管理の概念、健康危機管理(感染症、放射線事故、災害等)に関連する制度と法律、災害の種類と被害、災害拠点病院、健康危機管理、災害医療体制、救急搬送、広域搬送、トリアージ、災害時保健医療活動(各種活動チーム)、原子力災害、メンタルケア、リスクコミュニケーション	予習：災害による健康被害、災害による2次的健康被害、長期的な健康問題についてのニュースを調べて読んでおく。復習：震災後被災地で活動する支援チームの名称、定義、メンバー、活動内容について説明できるようにしておく。	【担当者】環境予防医学・尾崎 米厚 ／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）
29[1/27(火)1時限] 【131講義室】	公衆衛生のキャリアパス／【キーワード】卒後臨床研修、専門医、研究医、公衆衛生専門職、公衆衛生大学院、MPH、公衆衛生医、産業医、海外留学、国際機関	当該部分を参考書などで予習し、講義後復習として小テストや形成評価試験に回答し概要を説明できるようにする。	【担当者】健康政策医学・森田 明美 ／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習)）
30[2/3(火)1時限] 【131講義室】	グローバルヘルス、UHC／【キーワード】国際保健医療および健康課題、世界の疾病の状況、国際保健の課題、開発と健康、ジェンダー、貧困、飢餓、ユニバーサルヘルスカバレッジ、国連開発目標(SDGs)、国際機関・国際協力に関する組織・団体	予習：国際保健医療協力kに関するニュースを調べておく。復習：国際保健医療協力に関する健康課題、対策事例を説明できるようにしておく。	【担当者】環境予防医学・尾崎 米厚 ／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7208064	ナンバリング /Subject Code	MMBAM2001
科目名 /Subject Name	基礎医学特論 I		
英文科目名 /Subject English Name			
担当教員 /Teacher Name	植木 賢,椋田 崇生,山田 七子,三好 雅之		
クラス /Class		開講学期 /Class	後期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	後期
講義室 /Room		科目区分 /Room	専門科目
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	0.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	植木 賢(医学教育学・学部教育支援室)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	月曜日 16時30分～18時 ※来られる際には、事前連絡をお願いします”		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	医学教育総合センター Tel :0859-38-6438”		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	目的: 人の心身や疾患を理解する基盤となる科学としての医学及び社会医学について理解する 概要: 医師や医療者、特殊な分野で活躍する専門家による経験を生かした講義を通して、疾患による異常のメカニズム、広範な学問分野との連携・協働について学ぶとともに、医師としてのキャリアビジョンについても考える”		
キーワード /Keywords /4000文字以内	早老症(ハッチンソン・ギルフォード症候群、コケイン症候群、ウェルナー症候群)、小児癌生存者の早期老化、メディアを通じたコミュニケーション		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	老化と遺伝子、多職種連携による集学的アプローチについて説明できる。メディアにおけるコミュニケーションやキャリア形成について考える		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	なし		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義(80%)、発表(プレゼンテーション)を含むグループ演習(20%)		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	レポート50%。受講態度50%。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内		
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	現役医師、医療者、特殊分野の専門家がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[10/1(水)2時限]【121講義室】	イノベーション、内発的動機、外発的動機、自己実現理論、マズロー欲求6段階、発明を生み出す発想	医学部のコンピテンスであるI倫理プロフェッショナリズムやIV知的探究と創造性を再確認しておく。復習:医療者における異分野連携の意義について考察するとともにレポート課題を提出する。	【担当者】医学教育学植木 賢／(対面可:対面、対面不可:ハターン3遠隔(リアルタイム学習))
2[10/2(木)1時限]【121講義室】	多職種連携による集学的アプローチ／【キーワード】多職種連携、集学的アプローチ、喉頭癌、代用発声、シャント発声	医師のみに限らず、多職種で連携して医療実践するための看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師の役割について調べておく。講義中に課題を提示するのでレポート提出すること。	【担当者】教育支援・国際交流推進機構 高等教育開発センター・三好雅之／(対面可:対面、対面不可:ハターン3遠隔(リアルタイム学習))
3[10/2(木)2時限]【121講義室】	橋渡し研究／【キーワード】トランスレーショナルリサーチ、bench to bedside、死の谷、生命現象、液性調節、海馬、学習と記憶	橋渡し研究(トランスレーショナルリサーチ)がどのようなものか調べておく。授業で紹介する基礎研究の成果を予防医学で実用化するには、どのような取り組みが必要かなどを考え、レポートを作成する。	【担当者】解剖学・棕田 崇生／(対面可:対面、対面不可:ハターン2遠隔(オンデマンド学習))
4[10/7(火)1時限](予定)【121講義室】	キャリア形成／【キーワード】Diversity,Equity,Inclusion,経済、社会、医療プロフェッショナリズム	講義中に出た課題について期限までにレポートを作成すること。	【担当者】医学教育学(非常勤講師)・村上 由美子、卒後臨床研修センター・山田 七子／(対面可:対面、対面不可:ハターン3遠隔(リアルタイム学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7208065	ナンバリング /Subject Code	MMBAM2002
科目名 /Subject Name	基礎医学特論Ⅱ		
英文科目名 /Subject English Name			
担当教員 /Teacher Name	難波 大輔,経遠 智一,土谷 博之,板場 則子		
クラス /Class		開講学期 /Class	後期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	後期
講義室 /Room		科目区分 /Room	専門科目
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	0.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	難波大輔(再生医療学) 土谷博之(再生医療学) 経遠智一(再生医療学) 板場則子(再生医療学) 総合研究棟5F		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	水曜日3限		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	連絡先: 0859-38-6431、E-mail: dnanba@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	幹細胞生物学の視点から「がん」「老化」「再生」を理解する。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	幹細胞、がん、老化、組織再生、再生医療		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	「がん」「老化」「再生」を幹細胞生物学の視点から説明できる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	細胞生物学や組織学などの基礎的科目の知識を必要とするが、不足する場合は、適宜これを補う。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	なし		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	レポート100%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	「がん」「老化」「再生」は非常に複雑な現象ですが、幹細胞生物学の視点から見ると、少し違った角度から理解できます。授業では、最新の知見を交えつつ、幹細胞生物学の基礎から説明します。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	幹細胞生物学の研究者が講義を行う	

授業計画詳細登録/Course schedule			
回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[10/8(水)2時限]【121講義室】	幹細胞生物学の基礎／【キーワード】幹細胞、組織恒常性	幹細胞の種類について調べる(予習)。幹細胞による組織恒常性維持機構を理解する(復習)。	【担当者】再生医療学・難波 大輔／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
2[10/9(木)2時限]【121講義室】	がん幹細胞／【キーワード】がん幹細胞、がん免疫、再発、治療抵抗性	がんの発生・再発・治療抵抗性メカニズムについて調べる(予習)。がん幹細胞マーカーとその機能を整理する(復習)。	【担当者】再生医療学・土谷 博之／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
3[10/14(火)1時限]【121講義室】	老化と幹細胞／【キーワード】iPS細胞由来免疫細胞の利用、セノリシス、パーシャルリプログラミング	細胞老化と個体老化について調べる(予習)。授業で習ったことをまとめる(復習)。	【担当者】再生医療学・経遠 智一／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
4[10/16(木)1時限]【121講義室】	再生と幹細胞／【キーワード】再生医療、再生医療等製品、再生医療の法令	幹細胞を用いた再生医療の実例を調べる(予習)。現代医療における再生医療の役割を理解し、研究の動向と臨床への応用について、説明ができるようにする(復習)。	【担当者】再生医療学・板場 則子／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7207159	ナンバリング /Subject Code	MMCLM2001
科目名 /Subject Name	画像診断入門		
英文科目名 /Subject English Name	Image Interpretation Tutorial		
担当教員 /Teacher Name	藤井 進也,山本 修一,矢田 晋作,塚本 和充,高杉 昌平,椋田 奈保子		
クラス /Class		開講学期 /Class	後期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	後期
講義室 /Room		科目区分 /Room	専門科目
曜日・時限 /Week・Hour	金 3, 金 4	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	0.5
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	藤井 進也(画像診断治療学)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	金曜日3限・4限		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	放射線科医局0859-38-6637		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	画像解剖を理解できる		
キーワード /Keywords /4000文字以内	CT、MRI、画像解剖		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	正常の画像解剖を説明できる		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	画像診断は現在医療に欠かせない検査なので、多くの科目との関連がある。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	ポケット正常画像 A to Z メディカルビュー、医学生・研修医のための画像診断リファレンス 医学書院		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験 80%/学習態度 20%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	解剖実習で人体解剖の知識を習得したと思いますが、画像検査は現代医療に欠かせない検査であり、画像解剖を理解することは非常に重要です。最初は分かりにくいと思いますが、今後の多くの講義で画像診断の知識が必要となってくるので、きちんと理解出来るようにしましょう。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、人間力(自律性に基づく実行力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[11/21(金)3時限]【121講義室】	CT・MRI／【キーワード】CT・MRI	当該授業部分の解剖について復習しておくこと	【担当者】画像診断治療学・藤井進也
2[11/21(金)4時限]【121講義室】	頭部・女性骨盤の画像診断／【キーワード】頭部・女性骨盤の画像解剖	当該授業部分の解剖について復習しておくこと	【担当者】画像診断治療学・藤井進也
3[11/28(金)3時限]【121講義室】	頭頸部の画像診断／【キーワード】頭頸部の画像解剖	当該授業部分の解剖について復習しておくこと	【担当者】画像診断治療学・山本 修一
4[11/28(金)4時限]【121講義室】	呼吸器の画像診断／【キーワード】呼吸器の画像解剖	当該授業部分の解剖について復習しておくこと	【担当者】画像診断治療学・山本修一
5[12/12(金)3時限]【121講義室】	消化管の画像診断／【キーワード】消化管の画像解剖	当該授業部分の解剖について復習しておくこと	【担当者】画像診断治療学・遠藤 雅之
6[12/12(金)4時限]【121講義室】	循環器の画像診断／【キーワード】循環器の画像解剖	当該授業部分の解剖について復習しておくこと	【担当者】画像診断治療学・高杉 昌平
7[12/19(金)3時限]【121講義室】	骨軟部の画像診断／【キーワード】骨軟部の画像解剖	当該授業部分の解剖について復習しておくこと	【担当者】画像診断治療学・矢田 晋作 対面可：パターン2遠隔（オンデマンド学習）
8[12/19(金)4時限]【121講義室】	泌尿・生殖器の画像診断／【キーワード】泌尿・生殖器の画像解剖	当該授業部分の解剖について復習しておくこと	【担当者】画像診断治療学・村上 敦史
9[12/26(金)3時限]【122講義室】	試験		